

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第34週 >

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-9

< RSウイルス感染症 >

第34週の報告数は1,164例であり、第28週以降7週連続して増加が続いている



病原体情報
P.10-12

インフルエンザウイルス 2011/12シーズン



速報
P.13

2011/12シーズン夏季におけるAH3亜型インフルエンザウイルスの流行 - 沖縄県



海外感染症情報
P.14-21

ウガンダでエボラ出血熱が発生しています / コンゴ民主共和国でエボラ出血熱が発生しています / シエラレオネでコレラが流行しています / インフルエンザ / ウガンダで発生したエボラ出血熱は終息しました



感染症の話
P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(34週)
P.23-28



34週のデータ
P.29-41



発生動向総覧

< 第34週コメント > 8月29日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核352例

3類感染症

細菌性赤痢4例

菌種: *S. boydii*(C群)1例__感染地域: インド

S. sonnei(D群)3例__感染地域: インド2例、インドネシア1例

腸管出血性大腸菌感染症161例(有症者120例、うちHUS 8例)

感染地域: 国内160例、トルコ1例

国内の多い感染地域: 北海道35例*、福岡県16例、東京都11例、宮城県9例、青森県7例**、埼玉県6例、長野県6例***、三重県6例#、兵庫県6例、岩手県5例、神奈川県5例、大阪府5例、千葉県4例、京都府4例、宮崎県4例##、福井県3例、岐阜県3例、島根県3例

* 第32週に報告のあった白菜の浅漬けに関連した食中毒(O157 VT1・VT2)を含む

** 飲食店で発生した食中毒(O157 VT1・VT2)を含む

*** 第32週に報告のあった保育所における集団発生(O26 VT1)を含む

飲食店で発生した食中毒(O157 VT1・VT2)を含む

第32週に報告のあった保育所における集団発生(O103 VT1)を含む

年齢群: 0歳(2例)、1歳(5例)、2歳(12例)、3歳(5例)、4歳(8例)、5歳(7例)、6歳(4例)、7歳(5例)、8歳(2例)、9歳(4例)、10代(22例)、20代(23例)、30代(18例)、40代(7例)、50代(9例)、60代(16例)、70代(5例)、80代(4例)、90代(3例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(71例)、O26 VT1(19例)、O157 VT2(16例)、O103 VT1(13例)、O111 VT1・VT2(9例)、O157 VT1(6例)、O157 VT不明(3例)、O26 VT1・VT2(2例)、O103 VT不明(2例)、O145 VT1(2例)、O6 VT2(1例)、O18 VT1(1例)、O111 VT1(1例)、O121 VT2

(1例)、O128 VT2(1例)、O145 VT2(1例)、
O165 VT1・VT2(1例)、その他・不明(11例)

累積報告数 : 2,233例(有症者1,365例、うちHUS 57例、死亡6例)
感染地域 : マレーシア

腸チフス1例

4類感染症

デング熱8例(デング熱7例、デング出血熱1例)

感染地域 : タイ2例、カンボジア1例、フィリピン1例、マレーシア
1例、インド1例、ジャマイカ1例、タイ/カンボジア1例

日本紅斑熱6例

感染地域 : 三重県1例、広島県1例、高知県1例、長崎県1例、宮崎
県1例、鹿児島県1例

マラリア3例

三日熱3例__感染地域 : インド3例

レジオネラ症7例(肺炎型7例)

感染地域 : 三重県2例、茨城県1例、兵庫県1例、熊本県1例、国内
(都道府県不明)2例

年齢群 : 50代(2例)、60代(3例)、70代(1例)、80代(1例)

レプトスピラ症1例

感染地域 : ラオス__感染源 : 川

5類感染症

アメーバ赤痢8例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症1例、腸管及び腸管外アメーバ症
1例)

感染地域 : 東京都2例、埼玉県1例、愛知県1例、国内(都道府県
不明)4例

感染経路 : 性的接触3例(異性間1例、同性間1例、異性間・同性
間不明1例)、不明5例

急性脳炎6例

インフルエンザウイルスA型1例__年齢群 : 10代

病原体不明5例__年齢群 : 1歳(2例)、5歳(2例)、10代(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病3例

孤発性プリオン病古典型3例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例

年齢群 : 40代(1例)、60代(1例)、80代(1例)

後天性免疫不全症候群12例(AIDS 3例、無症候8例、その他1例)

感染地域 : 国内5例、タイ1例、カメルーン1例、米国/韓国/中国1例、
国内・国外不明4例

感染経路 : 性的接触10例(異性間3例、同性間6例、異性間・同性
間不明1例)、不明2例

ジアルジア症4例

感染地域 : 兵庫県1例、インド1例、ナイジェリア1例、ハイチ1例

髄膜炎菌性髄膜炎1例

感染地域 : 愛知県

年齢群 : 1歳

梅毒12例(早期顕症I期3例、早期顕症II期6例、無症候3例)

破傷風3例

年齢群 : 60代(2例)、80代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型 : 不明__菌検出検体 : 尿

風しん73例(検査診断例45例、臨床診断例28例)

感染地域 : 東京都13例、大阪府13例、兵庫県5例、愛知県4例、千
葉県3例、神奈川県3例、三重県3例、北海道1例、埼玉

県1例、長野県1例、鹿児島県1例、国内(都道府県不明)24例、タイ1例

年齢群: 1歳(2例)、5~9歳(1例)、10~14歳(6例)、15~19歳(7例)、20~24歳(5例)、25~29歳(15例)、30~34歳(7例)、35~39歳(4例)、40代(21例)、50代(4例)、60代(1例)

累積報告数: 1,333例(検査診断例978例、臨床診断例355例)

麻しん9例〔麻しん(検査診断例5例、臨床診断例3例)、修飾麻しん(検査診断例1例)〕

感染地域: 神奈川県2例、大阪府2例、兵庫県2例、埼玉県1例、東京都1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群: 0歳(1例)、15~19歳(1例)、20~24歳(1例)、25~29歳(1例)、30~34歳(2例)、40代(1例)、50代(1例)、70代(1例)

累積報告数: 233例〔麻しん(検査診断例124例、臨床診断例57例)、修飾麻しん(検査診断例52例)〕

遺伝子型別累積報告数(遺伝子型が同定・報告された症例のみ): 56例

D4: 6例__感染地域: 東京都2例、千葉県1例、東京都/ベトナム1例、大阪府/英国1例、パキスタン1例

D8: 37例__感染地域: 愛知県19例、千葉県5例、岐阜県3例、山梨県2例、都道府県不明6例、タイ1例、タイ/カンボジア1例

D9: 8例__感染地域: 岡山県4例、栃木県1例、千葉県1例、東京都1例、フィリピン1例

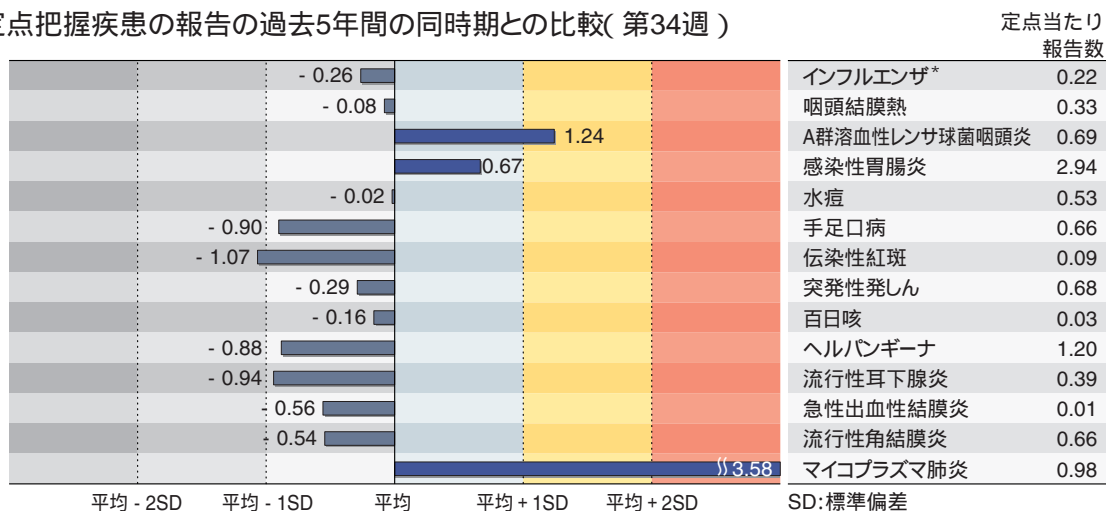
H1: 5例__感染地域: 福島県4例、台湾1例

(補) 2012年第33週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例〔菌種: *S. sonnei* (D群)__感染地域: インドネシア〕、 Dengue熱1例(感染地域: タイ)、マラリア1例(三日熱__感染地域: パキスタン)、レジオネラ症1例〔感染地域: 北海道(温泉)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔30代(1例)、60代(1例)〕、急性脳炎3例(ヒトヘルペスウイルス6型1例__年齢群: 1歳)、ムンプスウイルス1例__年齢群: 3歳)、病原体不明1例__年齢群: 1歳)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第34週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(* 2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(16.14)、鹿児島県(0.81)、大分県(0.12)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,164例と第28週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鹿児島県(1.20)、熊本県(0.77)、宮崎県(0.75)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では山口県(2.40)、鳥取県(1.68)、宮崎県(1.44)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(6.5)、宮崎県(5.6)、島根県(5.2)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では徳島県(1.04)、新潟県(0.88)、和歌山県(0.87)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では青森県(4.34)、新潟県(4.03)、宮城県(3.29)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では岩手県(0.48)、沖縄県(0.35)、岐阜県(0.26)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では高知県(0.47)、山口県(0.13)、栃木県(0.10)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(4.35)、山形県(3.10)、宮崎県(2.92)が多い。

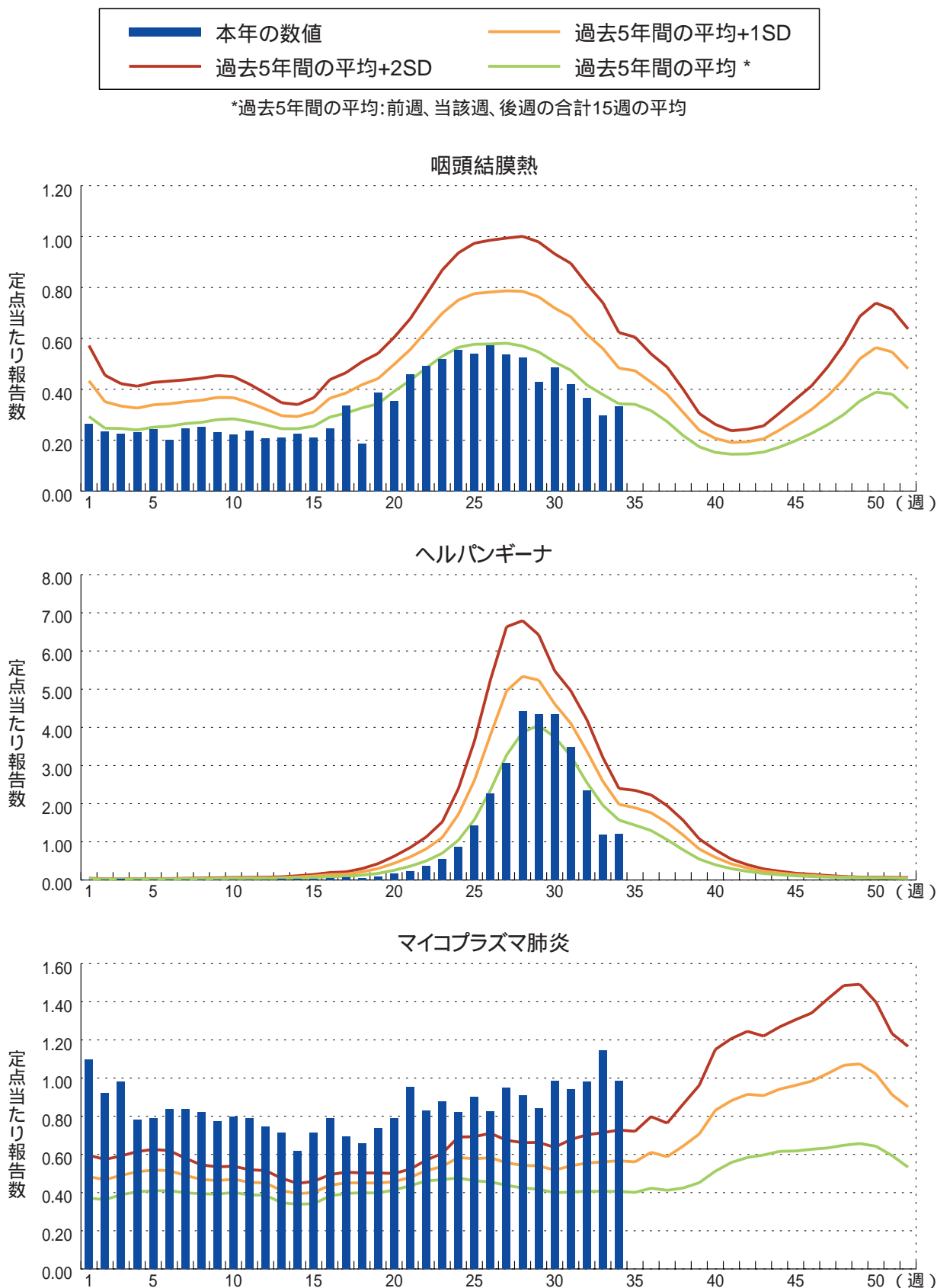
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(1.81)、岩手県(1.33)、岐阜県(1.02)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では栃木県(4.86)、群馬県(4.38)、岐阜県(3.80)、青森県(2.67)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2012年第34週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症(respiratory syncytial virus infection)は、病原体であるRSウイルスが伝播することによって発生する呼吸器感染症である。年齢を問わず、生涯にわたり顕性感染を繰り返す、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初感染を受けるとされている。乳幼児期においては非常に重要な疾患であり、特に生後数週間～数カ月間の時期においては母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす。

潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日とされている。発熱、鼻汁などの上気道炎症症状が数日間続き、その後下気道症状が出現してくる。咳嗽、鼻汁などの上気道症状が2～3日続いた後、感染が下気道、とくに細気管支に及んだ場合には特徴的な病型である細気管支炎となる。細気管支炎例では、炎症性浮腫と分泌物、脱落上皮により細気管支が狭くなるに従って、呼気性喘鳴、多呼吸、陥没呼吸などを呈するようになる。喀痰の貯留により無気肺をおこすことも珍しくない。心肺に基礎疾患を有する児においては、しばしば遷延化、重症化する。発熱は初期症状として普通に見られるが、呼吸状態の悪化により入院が必要となった際には体温は38 以下になるか、あるいは平熱となっている場合が多い。RSウイルス感染症は、乳幼児の肺炎の原因の約50%、細気管支炎の50～90%を占めるとの報告もある。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、臨床上、公衆衛生上のインパクトは大きい。重篤な合併症として注意すべきものには無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳症等がある(IASR 2008年10月号 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/344/tpc344-j.html> 参照)。

RSウイルスの主な感染経路は飛沫感染と接触感染であるが、感染力が強く、また再感染例等で典型的な症状を呈さずにRSウイルス感染と気付かれない軽症例も存在することから、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行を効果的に抑制することは困難である場合が多い。

RSウイルス感染症の発生動向については、感染症法改正(2003年11月5日施行)により対象疾患となり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。診断は臨床症状のみでは不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原検出、血清抗体検出(中和反応または補体結合反応)による病原検査が必須とされている。臨床現場で最も簡便な迅速診断キット検査については、医療保険適用として入院例のみが対象であったが、2011年10月より従来入院例に加えて乳児およびパリピズマブ製剤¹の適応となる患者²に対しても適用されることとなり(厚生労働省ホームページ <http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T111019S0010.pdf> 参照)、その後は外来診療の場においても活用されていることと推察される。

RSウイルス感染症の小児科定点医療機関からの報告数は、例年冬期にピークが見られ、夏期は報告数が少ない状態が継続していたが、2011年、2012年と2年連続して7月頃から増加傾向がみられている。2012年第34週の報告数は1,164例であり、第28週以降7週連続して増加が続いている。また2004年以降の同時期の報告数としては、最多であった昨年(898例)を更に上回った(図1)。都道府県別の報告数をみると、福岡県(254)、東京都(146)、鹿児島県(95)、宮崎県(68)、大阪府(63)、沖縄県(49)、広島県(42)の順となっている。25の都府県で前週の報告数よりも増加しており、特に福岡県では大きな増加が認められている(図2)。

図1. RSウイルス感染症の年別・週別発生状況(2003年第45週 ~ 2012年第34週)

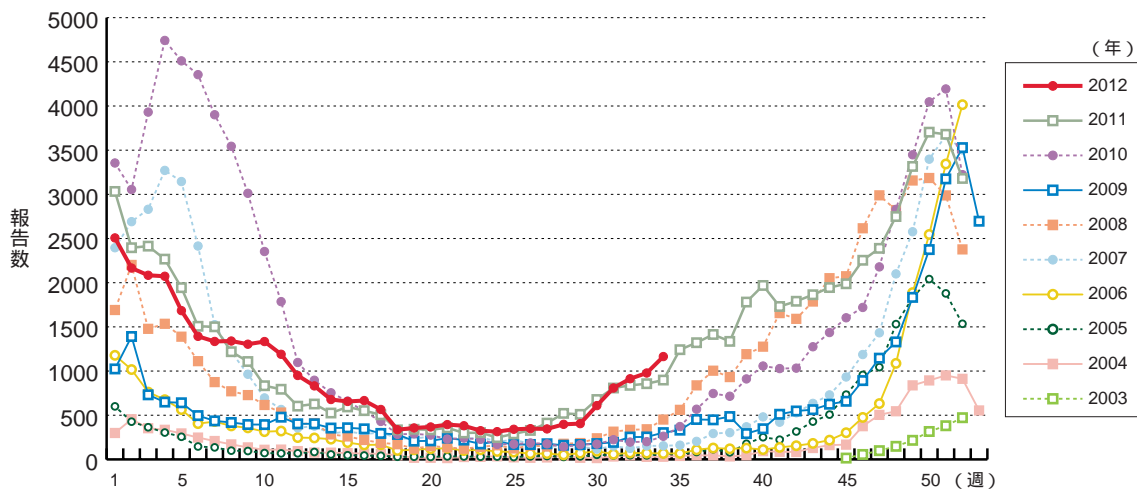
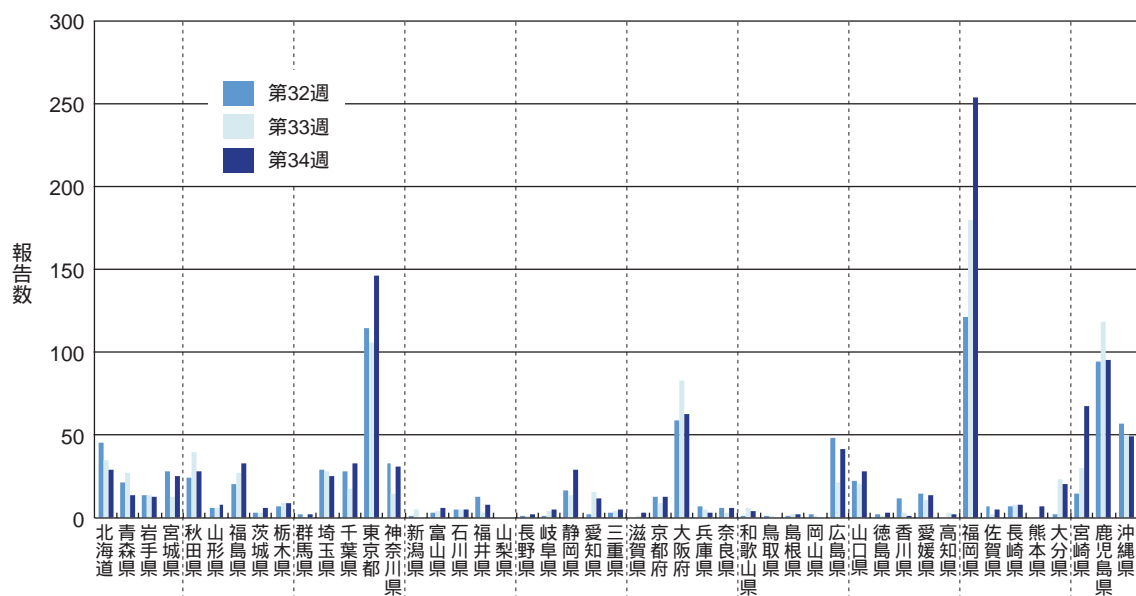
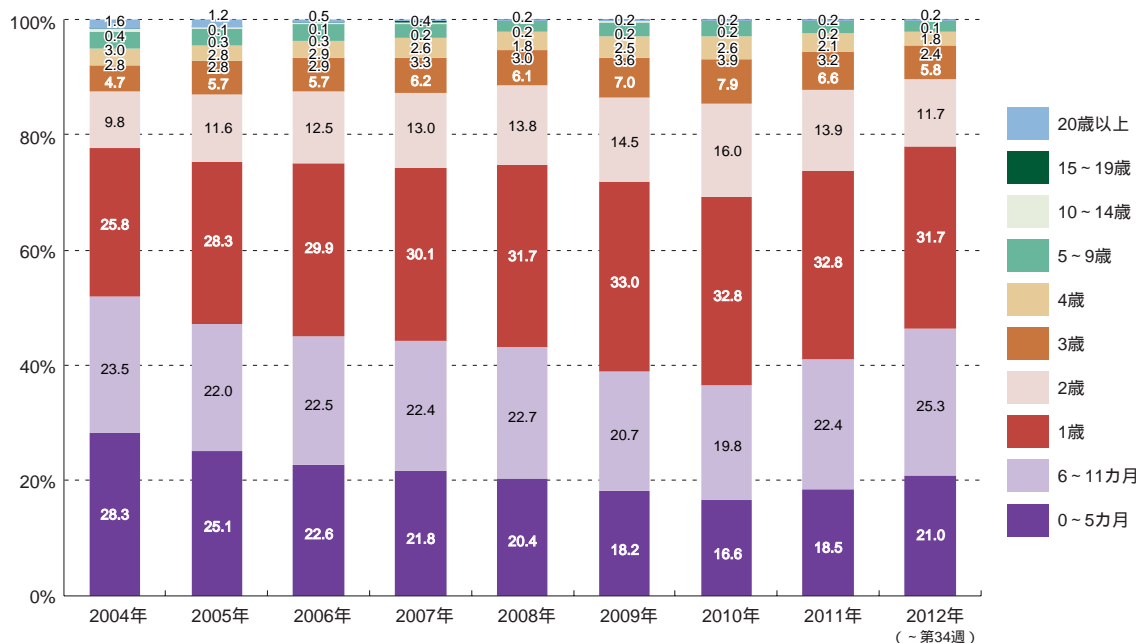


図2. RSウイルス感染症の都道府県別報告数の推移(2012年第32 ~ 34週)



2012年第1～34週の累積報告数(31,790)の年齢群別割合をみると、0歳46.3%(0～5カ月21.0%、6～11カ月25.3%)、1歳31.7%、2歳11.7%、3歳5.8%、4歳2.4%の順であり、1歳以下で全報告数の約70%以上を、3歳以下で全報告数の90%以上を占めているのは、2004年以降変わっていない(図3)。

図3. RSウイルス感染症の年別・年齢群別割合(2004年～2012年第34週)



RSウイルス感染症は冬期を中心に流行する感染症であり、例年12月か又は翌年の1月にそのピークを迎えている。しかし感染症発生動向調査からは、近年流行の立ち上がり及早まってきたものと推察されており、2012年第31週以降の報告数は、これまでで最も立ち上がり及早かった2011年の報告数をも上回っている。RSウイルス感染症は、その重篤性や合併症から特に乳幼児において臨床的および公衆衛生的に極めて重要な感染症であり、今後の同疾患の報告数の推移についてはより一層の注意が必要である。

1. パリビズマブ製剤：RSウイルスの感染予防、感染発症後の重症化予防に用いられる遺伝子組み換え抗RSウイルス抗体
2. パリビズマブ製剤の適応となる患者：
 - ・在胎期間28週以下の早産で、12カ月齢以下の新生児及び乳児
 - ・在胎期間29～35週の早産で、6カ月齢以下の新生児及び乳児
 - ・過去6カ月以内に気管支肺異形成症の治療を受けた24カ月齢以下の新生児、乳児及び幼児
 - ・24カ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患の新生児、乳児及び幼児



病原体情報

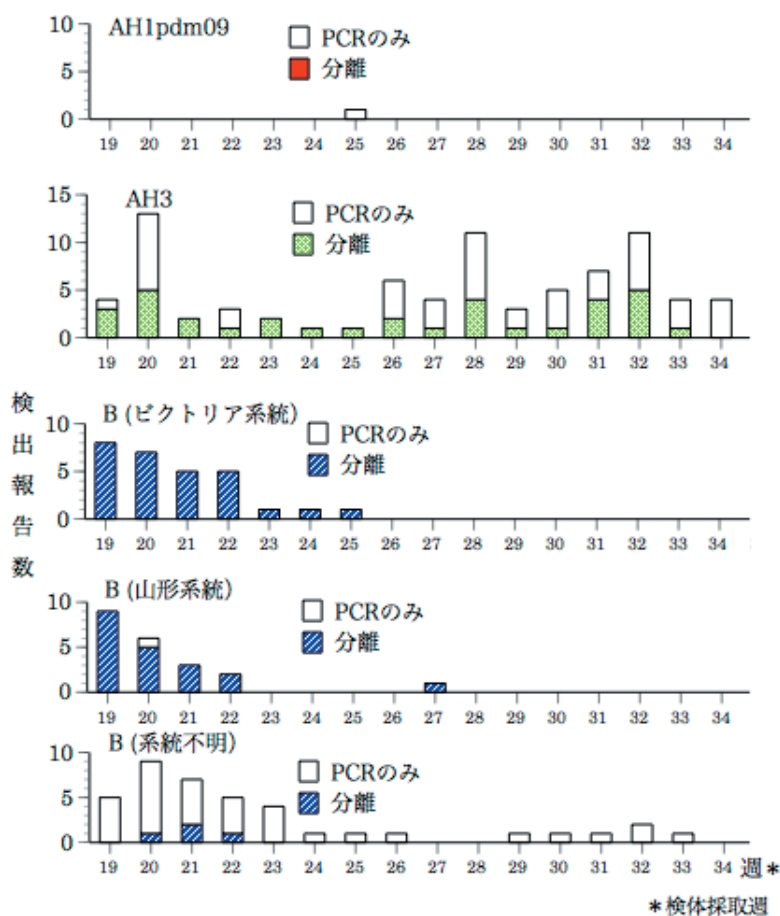
* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2012年8月31日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2011/12シーズン

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2012年第19週～第34週
(病原微生物検出情報：2012年8月31日現在報告数)



(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

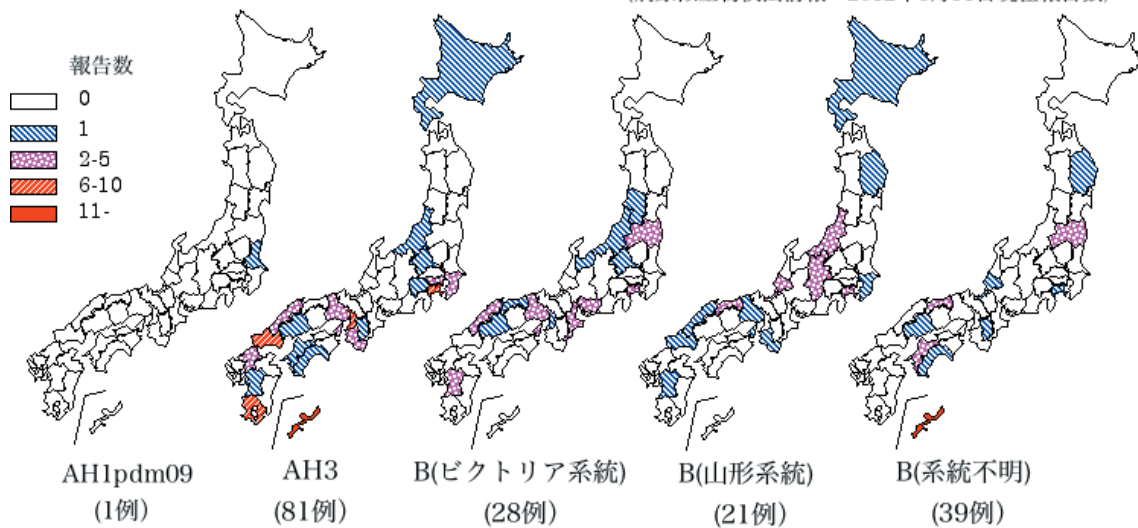


Infectious Agents Surveillance Report

2012年第19週以降インフルエンザウイルス検出報告は少数となっているが、沖縄県では夏季に入っても流行が続き、第26週以降AH3亜型が主に検出されている(本号13ページ「速報」参照)。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2012年第19週～第34週

(病原微生物検出情報：2012年8月31日現在報告数)



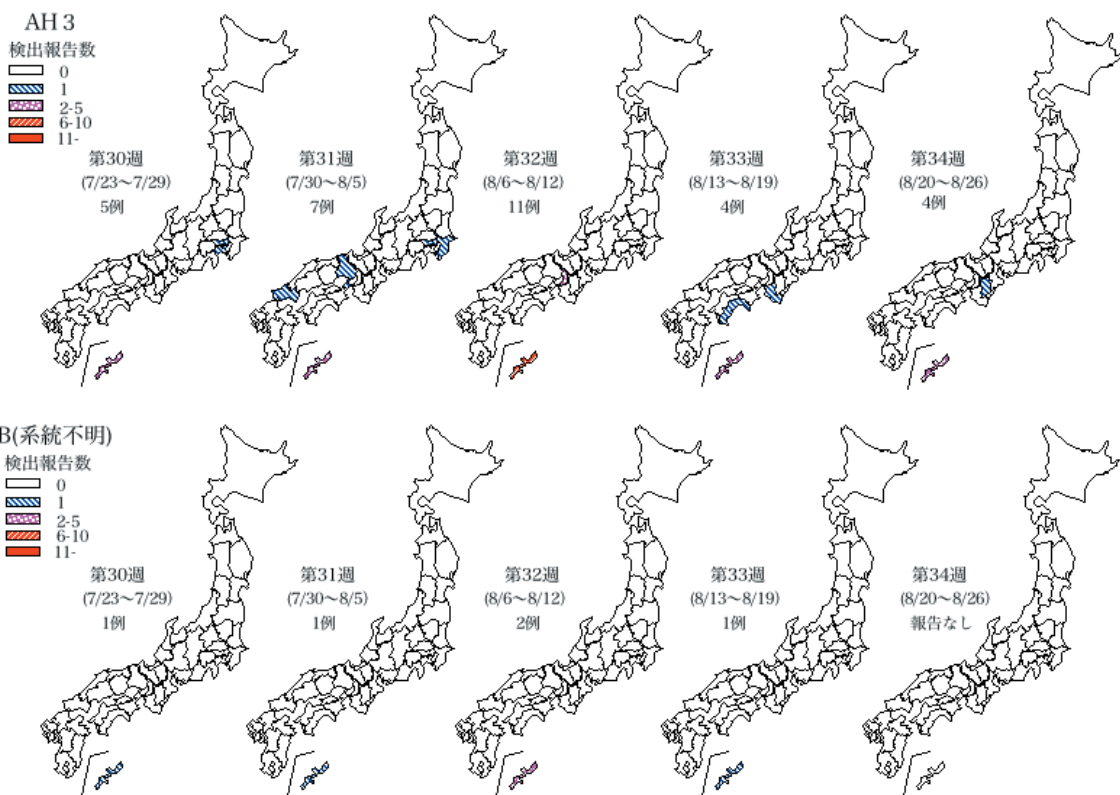
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2012年第19～34週の累積では、AH1pdm09が茨城県から1件、AH3亜型が20都道府県から81件、B型はビクトリア系統株が14府県から28件、山形系統株が13道県から21件、系統不明株が10県から39件報告されている。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2012年第30週～第34週

(病原微生物検出情報：2012年8月31日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



2012年第30～34週の5週間では、AH3亜型が沖縄県から17件、大阪府から5件など10都府県から31件、B型は系統不明株が沖縄県から5件報告されている。

このうち、輸入例からの検出が4件(AH3亜型、フィリピン、オーストラリア、中国、タイ各1件)報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html> を参照ください。



2011/12シーズン夏季におけるAH3亜型インフルエンザウイルスの流行 - 沖縄県

沖縄県では、2005年以降冬季のみならず夏季にもインフルエンザ流行が認められるようになり (IASR 26: 243-244, 2005、27: 304-305, 2006、29: 309-310, 2008、31: 297, 2010) さらに近年、患者の発生は一年を通して報告されている (IASR 28: 322-323, 2007)。2011/12シーズンにおいても冬季流行後に終息することなく、再び夏季のインフルエンザ流行が認められたので、その概要を報告する。

今シーズンの県内におけるインフルエンザ流行は、第6週(2/6～2/12)に定点当たり患者報告数35.78人でピークとなった後、患者数は減少傾向となったが、終息することなく第26週(6/25～7/1)から再び増加に転じ、第29週(7/16～7/22)には21.10人で2回目のピークとなった。第26週以降の年齢別患者報告数は0～4歳が742人と最も多く、次いで30～39歳713人、20～29歳680人、5～9歳651人、40～49歳505人、10～14歳440人、50～59歳420人、80歳以上355人、60～69歳314人、15～19歳275人、70～79歳273人の順であった。県内の小中学校10校では臨時休業(学年・学級閉鎖)の措置が取られた。

リアルタイムPCR法により検出されたインフルエンザウイルスの型および亜型は、シーズン開始から冬季流行時(1～3月)はAH3亜型が86例、B型が14例検出され、AH3亜型が主流であった。しかし、4～6月はB型29例、AH3亜型6例、AH1pdm09型1例で、流行はB型へと移行したが、7月にはAH3亜型12例、B型2例が検出され、再びAH3亜型が主流となった。

夏季のAH3亜型ウイルスによる流行は、2004/05シーズン以来2回目である (IASR 26: 243-244, 2005)。当時、夏季のAH3亜型ウイルスによる流行は終息することなく10～11月には集団発生の報告があり (IASR 27: 45-46, 2006)、さらに冬季の流行株の主流となったことから (IASR 28: 322-323, 2007) 今後も引き続きその発生動向に注視していく必要がある。なお、ウイルス分離を実施し、引き続き抗原解析を行う予定である。

沖縄県感染症情報センター 久場由真仁

沖縄県衛生環境研究所

喜屋武向子 平良勝也 高良武俊 岡野 祥 仁平 稔 久高 潤

沖縄県福祉保健部健康増進課 松本直人 棚原憲実

(IASR 2012年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ウガンダでエボラ出血熱が発生しています(更新7)

2012年8月27日 WHO(AFRO)

WHOアフリカ地域事務所の情報によりますと、2012年8月27日時点で、キバレでは、確定患者と疑い患者は合わせて24人、死亡者は17人が報告されています。

現在、隔離病棟に入院している確定患者、可能性の高い患者、疑い患者はいません。最後の確定患者は医療従事者で、8月24日に退院しました。その後に入院した人や新たな疑い患者はいません。

発生状況が落ち着いたため、対応活動は縮小されており、地域の対策本部は、月曜日、水曜日、金曜日の週3回、状況を報告することを決定しました。保健医療従事者の人員も縮小され、合計53人の保健医療従事者が活動を継続しています。

21日間の経過観察が終わった接触者は合計376人ですが、まだ、31人の経過観察が続いています。現時点では、接触者の経過観察最終日は8月31日の予定です。

これ以上エボラ出血熱の患者が発見されなければ、最後の確定患者の入院日から42日後(エボラ出血熱の最大潜伏期間の2倍の期間)の2012年9月14日に終息宣言が出される予定です。

国と地域の対策本部は、引き続き、定期的な調整会議を開催しています。

通常の保健医療提供機能に戻すために、国の医療品の備蓄から、定期の予防接種で使用するワクチンを含む必須の医薬品がキバレ地区のすべての医療施設に届けられました。

国境なき医師団は、病院での感染症予防を支援するために、種々の薬、個人防護具、その他の物品を、カガディ(Kagadi)病院に寄付しました。

地域の対策本部は、警戒や救急活動、退院した患者や遺族への社会心理的支援を含む今後の活動を支持するために、保健省の小型トラック2台と運転手を引き続き使用できるように求めました。

退院する患者や地域住民への社会心理的支援は継続されています。社会心理的支援チームは、2012年8月26日に3人退院患者を訪ね、その中の1人で、エボラ出血熱で死亡した患者の遺族で精神疾患(うつ病)になった人に薬を届けました。

保健省は、ナイル川の西部でのサーベイランスを強化し、コンゴ民主共和国からの国境を越えたエボラ出血熱の伝播に対する警戒を強化するために、専門家チームをナイル川の西部に派遣しました。

コンゴ民主共和国でエボラ出血熱が発生しています(更新2)

2012年8月30日 WHO(GAR)

2012年8月30日に公表されたWHOの情報によりますと、コンゴ民主共和国保健省は、エボラ出血熱の発生を抑えるために、引き続き、関係機関と対応にあたっています。2012年8月28日時点で、オリエンタル(Orientale)州ではエボラ出血熱の患者24人(確定患者は6人、可能性の高い患者は6人、疑い患者は12人)と死亡者11人が報告されています。報告された患者と死亡者は、3地域から報告されています。イシロ(Isiro)では、患者17人と死亡者9人が報告されており、死亡者のうち3人は医療従事者でした。また、ビアダーナ(Viadana)では患者6人と死亡者2人、ドゥング(Dungu)では患者1人が報告されています。警告を受けた事例はすべて調査されており、これまでに、オリエンタル州以外でエボラ出血熱の確定患者や疑い患者は報告されていません。

最初の検体は、ウガンダのエンテベ(Entebbe)にあるウガンダウイルス研究所(UVRI)で検査さ

れました。2人の患者から採取した3検体で、ブンディブギョエボラウイルスが確認されました。

米国疾病予防管理センター(CDC)は、患者管理と疫学調査を支援するため、インコに現地研究所を設立しました。コンゴ民主共和国保健省は、感染拡大を防止するため、国の対策本部を招集し、WHO、国境なき医師団(MSF)、国際赤十字赤新月社連盟(IFRC)、CDCを含む協力機関と対応にあたっています。

保健省、WHO、MSFの緊急対策チームは、現地で、詳細な疫学調査の実施や患者管理の支援を行っています。WHOは、保健省を支援するため、アフリカ地域事務所(国際支援チームを含む)と本部から、疫学者、物資調達担当者を派遣しており、調整、サーベイランス、疫学、集団発生に対応するための物資調達、情報公開、社会的動員の各分野で、関係機関と緊密に連携して対応しています。

WHOのネットワークであるGlobal Outbreak Alert and Response Network(GOARN)は、現在進められている対応に影響を与えかねない地域住民の社会的・人類学的な問題の理解を深めることを支援するために、フランスの国立自然史博物館から人類学者を派遣しました。

実施されている活動には、積極的な患者発見、患者の追跡調査、サーベイランスの強化、患者管理、情報公開、社会的動員、感染予防対策の強化が含まれています。

WHOはコンゴ民主共和国への渡航や貿易を制限することを推奨していません。

これまでのところ、コンゴ民主共和国で発生しているエボラ出血熱と、最近、ウガンダのキバレ(Kibaale)で発生しているエボラ出血熱の関連性を示すものはありません。

< エボラウイルスの種に関する一般的な情報 >

エボラウイルスには5つの種が確認されています。種の名前は、その種のウイルスによるエボラ出血熱の発生が最初に発見された地名にちなんでつけられています。5種のうち、ザイルエボラウイルス、スーダンエボラウイルス、ブンディブギョエボラウイルスの3種が、アフリカのエボラ出血熱の大規模な発生と関連していました。エボラ出血熱は患者のうち25%から90%が死亡する出血熱です。フィリピンで発見されたレストンエボラウイルスは、人に感染することはありますが、これまでに、人での発症や死亡は報告されていません。

[シエラレオネでコレラが流行しています\(更新3 \)](#)

2012年8月30日 WHO(GAR)

2012年8月30日に公表されたWHOの情報によりますと、シエラレオネでは、今年、13,934人の患者が発生しており、このうち232人が死亡しています(致死率は1.7%)。8月に入り、コレラの新規患者数が著しく増加しています。シエラレオネの13地区のうち、11地区で新たな患者が報告されており、特に、コレラの流行が広がっているのは、西部地域と北部州のポートロコです。最近、流行がみられたのは、東部州のケネマ地区です。

シエラレオネの大統領は、拡大しているコレラの流行を「人道的な危機」と宣言しました。その結果、調整や資源の動員や対応を監督するために、閣僚級のコレラ対策本部が立ち上げられました。対応への取り組みは、保健衛生省のほか、財務、広報・情報公開の担当省や地方自治体、関係機関、関係者を含む多くの分野で行われています。

コレラの発生に対するすべての対応活動をより円滑に調整するために、フリータウンにあるWHOの国事務所にコレラ対策センター(Cholera Control and Command Centre)が設置されました。この手法は、以前にも用いられ、2008年から2009年にジンバブエでコレラが発生した時に有効な対

応であったことが示されました。

コレラ対策センターの第1回会議は2012年8月28日に開催され、それ以降、連日開催される予定です。コレラ対策センターは、サーベイランス、患者管理、水と衛生、物資調達、社会的動員の対応を行っている技術的な小委員会の監督を行っています。

保健衛生省は、国境なき医師団、UNICEF、WHOや他の関係機関とともに、疫学調査、サーベイランス、設立されたコレラ治療センターでの患者管理、水と衛生対策、社会的動員、地域での教育といった予防と感染拡大のための活動を行っています。

WHOは疫学、社会的動員、サーベイランスの分野でシエラレオネを支援しており、アフリカ地域事務所(国際支援チームを含む)とWHO本部から、専門家を派遣しています。

WHOのネットワークである、Global Outbreak Alert and Response Network(GOARN)は、 Bangladesh の国際下痢性疾患研究センター(ICDDR,B)から、長年にわたって国際的なコレラ対策の経験を有する患者管理と検査の専門家を派遣しました。

WHOはシエラレオネへの渡航や貿易を制限することを推奨していません。

インフルエンザ - 更新167

2012年8月31日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域のほとんどの国では、毎週のインフルエンザのデータ報告をやめているか、シーズンオフのサーベイランススケジュールに移りました。米国では、人のインフルエンザA(H3N2)の新規感染例が発見されていますが、これまでに、人から人への持続的な感染は確認されていません。
- ・熱帯地域では、アメリカ大陸のブラジル、コスタリカ、キューバ、エクアドル、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ペルー、ボリビア(インフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザA(H3N2)、インフルエンザB型)、サハラ以南のアフリカ大陸のガーナとマダガスカル(インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型)、アジアのブータン、カンボジア、中国南部、香港、インド、ラオス、シンガポール、スリランカ、ベトナム(インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型)で著しいインフルエンザの活動性が報告されています。
- ・南半球の温帯地域の国ではインフルエンザの活動性が減少しています。オーストラリア、チリ、ニュージーランド、パラグアイ、南アフリカでは、インフルエンザの指標が減少し続けています。アルゼンチンは、今年、例年に比べて非常に少ない検出数が続いています。
- ・チリ、南アフリカ、オーストラリアを含む南半球の温帯地域で、最近数週間に検出された主要型・亜型はインフルエンザA(H3N2)でした。しかし、中米では、以前はインフルエンザA(H1N1)pdm09の伝播が報告されていましたが、現在は、主にインフルエンザB型が優勢となっています。アジアの熱帯地域では、中国南部と東南アジアでは主にインフルエンザA(H3N2)が報告されていますが、ブータン、インド、スリランカでは、インフルエンザA(H1N1)とインフルエンザB型が流行しています。
- ・ノイラミニダーゼに対する抵抗性の報告は非常に稀です。特に、オーストラリアでは、今シーズン、これまでに検査されたインフルエンザA(H3N2)ウイルスの大部分が、フェレットの抗血清を使用した赤血球凝集抑制試験で、現在、南半球で使用されているワクチンに含まれているウイルスに対して産生される抗血清の力価が低下していたと報告されています。

【北半球の温帯地域】

北半球の温帯地域でのインフルエンザの伝播を報告しているすべての国で、インフルエンザの伝播は最小で、シーズンオフの水準です。

米国では、豚由来のインフルエンザA(H3N2)ウイルスに感染した確定患者数は、2012年7月から8月23日までの間に276人に増加しました。新たな患者は、主に、報告された患者の周囲の積極的な患者発見の結果、発見されました。13人が入院しましたが、入院した患者はすべて回復しています。患者の大部分は、豚との接触に関連していますが、3人は、持続的ではなく、限られた人 - 人感染で感染したことが確認されています。持続的な人 - 人感染は確認されていません。さらに詳しい情報は、CDCのホームページに掲載されています。

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域

中米、カリブ海諸国、南米の熱帯地域のインフルエンザの活動性を報告している国では、現在、インフルエンザの伝播が非常に低い水準に減少したと報告されています。

中米の全域で、北半球の夏の間、インフルエンザA(H1N1)pdm09が検出された後、ウイルスの検出数は数週間で減少し、現在は非常に低くなっていますが、最も多く検出されているウイルスはインフルエンザB型となっています。エルサルバドル、コスタリカ、ニカラグア、パナマでは、少なくとも過去6週間、インフルエンザB型が優勢であり、インフルエンザA(H1N1)pdm09はほとんど検出されていないと報告されています。ホンジュラスでは、最近、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がともに検出されていると報告されています。ニカラグアでは、インフルエンザA(H3N2)が少数報告されています。カリブ海諸国では、キューバでインフルエンザウイルスの活動性が6月中旬にピークに達した後、低い活動性となっており、最も多く検出されているのはインフルエンザB型です。

南米の熱帯地域では、最近のインフルエンザの伝播は、主に、ブラジル、エクアドル、ペルー、ボリビアで報告されており、いずれの国でも非常に低い水準が続いています。

ブラジルでは、インフルエンザの活動性は8月中旬にピークに達した後、減少し続けていると報告されています。今年、重症急性呼吸器感染症(SARI)の患者の22%(15,613人中3,406人)からインフルエンザウイルスが検出され、そのうちの70%(3,406人中2,398人)はインフルエンザA(H1N1)pdm09で、残りの30%のほとんどがインフルエンザA(H3N2)でした。さらに、SARIで死亡した患者の28%(1,268人中363人)でインフルエンザが検出されており、そのうちの84%(363人中307人)がインフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスでした。SARIで死亡した患者の50%(1,268人中638人)は、男性で、年齢の中央値は46歳(年齢幅は0歳から99歳)でした。また、SARIで死亡した患者の60%で、少なくとも1つ以上の合併症が記録されていました。

ブラジルとは対照的に、エクアドル、ペルー、ボリビアでは、最近数週間、主にインフルエンザB型が検出されていると報告されています。

・サハラ以南のアフリカ

インフルエンザのデータを報告しているサハラ以南のアフリカの国では、ガーナだけが著明なインフルエンザの流行を報告しており、主にインフルエンザB型が流行しています。マダガスカルでは、6月にインフルエンザA(H3N2)の伝播のピークに達した後、減少し続けています。

・ アジアの熱帯地域

アジアの熱帯地域では数か国で、最近、インフルエンザウイルスの流行が著しく、特に、中国南部、ベトナムで著しい流行がみられています。

インド、スリランカ、ブータン、タイでは、7月上旬にインフルエンザの伝播のピークに達した後、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がほぼ同じ割合で、少数検出されています。

中国南部でもインフルエンザの活動性は減少が続いています。定点機関を受診したインフルエンザ様疾患(ILI)の患者の割合は、最近の報告週で2.9%であり、前週(3.0%)に比べて若干減少しました。検査されたILI患者の検体のうち、22%(884検体中198検体)がインフルエンザ陽性でした。インド亜大陸とは対照的に、中国南部では、97%(177検体のうち172検体)がインフルエンザA(H3N2)でした。

ベトナム、カンボジア、ラオスは、最近数週間、中国南部と同様の傾向です。7月中旬にインフルエンザA(H3N2)の伝播がピークに達した後、ウイルスの検出数は非常に少数です。

シンガポールでは、急性呼吸器感染症(ARI)の活動性は減少し、過去2週間は警戒水準を下回っています。総合病院のARI患者のうち、ILI患者の占める割合は1%と低いものの、過去4週間に採取されたILI患者の検体のうち41%(102検体中42検体)がインフルエンザ陽性でした。7月に検査された検体のうち、インフルエンザA(H3N2)が51%、インフルエンザA(H1N1)pdm09が35%、インフルエンザB型が14%を占めました。

中国の国立インフルエンザセンターは、8月13日から8月19日に261株のインフルエンザウイルスの抗原解析を行いました。インフルエンザA(H3N2)のうち96%(216株中207株)はA/Perth/16/2009(H3N2)-likeに抗原的に類似していましたが、4%(216株中9株)でA/Perth/16/2009(H3N2)に対して産生される抗血清の力価が低下(赤血球凝集抑制試験で8倍以下)していました。解析されたインフルエンザB型ビクトリア系統のウイルスのうち62%(39株中24株)はB/Brisbane/60/2008-likeに抗原的に類似していましたが、39%(39株中15株)はB/Brisbane/60/2008に対して産生される抗血清の力価が低下(赤血球凝集抑制試験で8倍以下)していました。また、解析されたインフルエンザB型山形系統のウイルス6株は、すべてB/Wisconsin/01/2010-likeに抗原的に類似していました。

2011年10月1日から2012年8月19日までに解析されたインフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)は、すべて、ノイラミニダーゼ阻害薬に感受性がありました。

【南半球の温帯地域】

南半球の温帯地域では、ほとんどの国でインフルエンザの活動性が減少し続けています。

・ 南米の温帯地域

南米の南回帰線以南の地域のインフルエンザの活動性は、ピークに達したようであり、アルゼンチン、チリ、パラグアイで減少しています。

チリでは、ILI患者の受診率は人口10万人あたり11.4であり、前週(10万人あたり11.7)に比べて若干減少しており、6月下旬にピークに達した後、減少傾向が続いています。インフルエンザに関連して病院の救急部門を受診した患者の割合は過去2週間で増加していますが、7月上旬の割合に比べると低い水準です。最近の報告週では、呼吸器感染症を起こすウイルスが検出された検体のうち、14%がインフルエンザA型であり、その大部分はインフルエンザA(H3N2)でした。同時期に検査されたSARI患者の検体のうち、10%(48検体のうち5検体)はインフルエンザA型であり、そのうち亜型の情報があるものは3検体で、いずれもインフルエンザA(H3N2)でした。

アルゼンチンでは、依然として、インフルエンザウイルスの検出数は少数であると報告されています。ILI患者とSARI患者数は、6月第1週以降、減少傾向が続いており、RSウイルスの検出数の減少に一致しています。検出されているインフルエンザウイルスは少数ですが、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がともに検出されています。

パラグアイでは、インフルエンザの検出数は7月中旬にピークに達した降、着実に減少し、ILI患者とSARI患者の割合は、過去2週間、減少し続けており、RSウイルス検出数の減少に一致しています。インフルエンザと確定されたSARI患者の8人のうち、インフルエンザB型が検出されたのは3人、インフルエンザA(H1N1)pdm09が検出されたのは3人、インフルエンザA(H3N2)が検出されたのは1人でした。今年、呼吸器感染症を起こすウイルスが確認されたSARIによる死亡者(24人)のうち、16人(67%)がインフルエンザA(H1N1)pdm09と確定されました。

・南アフリカの温帯地域

南アフリカでは、インフルエンザの検出数が減少した後、過去3週間、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型がともに流行した状態が続いています。インフルエンザが陽性になったSARI患者の検体のうち、多くはインフルエンザA(H3N2)ウイルスでした。

・オセアニア、メラネシア、ポリネシア

オーストラリアでは、最近の報告週で、インフルエンザの指標のほとんどが減少したと報告されています。ニュージーランドでは、ILI患者の受診が6月以降、初めて減少したと報告されています。

オーストラリアでは、ほとんどすべての地域で、流行閾値を超えたインフルエンザ活動性が報告されています。しかし、ほとんどのサーベイランスシステムで、前週に比べて活動性が減少したと報告されており、インフルエンザの活動性は2週連続で減少しました。定点となっている一般開業医へのILI患者の受診率は、ピーク時には1,000受診者あたり22.1でしたが、8月19日までの週は1,000受診者あたり14.0と減少が続いています。全国では、過去2週間にインフルエンザと確定されたのは6,614人であり、わずかに減少しました。確定患者の約56%はクイーンズランド州から報告されています。クイーンズランド州だけは、インフルエンザの検出数が増加し続けており、他の地域の報告数は変わらないか、減少しています。今年はインフルエンザA(H3N2)が優勢で、年齢分布は、0歳から4歳と70歳以上にピークがある二峰性を示しています。30歳から44歳の年齢層にも小さなピークがみられます。

インフルエンザによる入院患者数は7月中旬にピークに達した後、減少し続けています。入院患者の75%に合併症がありました。入院患者の年齢分布は、0歳から9歳と70歳以上にピークがある二峰性を示していると報告されています。2012年4月7日以降、インフルエンザで入院した患者の9%の患者が集中治療室に入院しました。集中治療室に入院した患者のうち、16%がインフルエンザB型でした。しかし、インフルエンザB型の患者のうち40%は、他の地域に比べてインフルエンザB型の検出割合が多いノーザンテリトリーからの報告です。集中治療室に入院した患者のうち、約45%が65歳以上の患者(中央値は60歳)であり、75%に合併症がありました。

2012年7月1日から8月17日までの間にインフルエンザの重篤な合併症で入院した小児は17人で、そのうち5人が集中治療室に入院しました。この入院患者の60%以上はインフルエンザA型(亜型不明)に感染しており、残りはインフルエンザB型に感染していました。また、この入院患者の約半数には基礎疾患がありました。

今年、これまで、NNDSS(国の届出疾患サーベイランスシステム)により、インフルエンザに関

連した死亡は33人報告されており、年齢の中央値は75歳でした。ほとんどの患者はインフルエンザA型(亜型不明)に感染していたと報告されています。全国でのインフルエンザA(H1N1)pdm09の検出数は非常に少数なので、おそらく、インフルエンザA(H3N2)によるものと考えられています。

国全体では、インフルエンザA(H3N2)が優勢で、インフルエンザB型も流行しています。しかし、型や亜型の分布は、地域によって異なります。ほとんどの地域では、インフルエンザA(H3N2)が優勢ですが、西オーストラリア州ではインフルエンザB型が3分の1を占めています。この報告期間にNNDSSに報告された6,614人のインフルエンザ患者のうち、5,400人がインフルエンザA型(亜型不明のインフルエンザA型が4,568人、インフルエンザA(H3N2)が816人、インフルエンザA(H1N1)pdm09が16人)で、1,202人がインフルエンザB型で、12人がインフルエンザA型とB型の重複感染かインフルエンザC型、または型別不明と報告されました。

WHOのインフルエンザ研究協力センター(WHO Collaborating Centre for Reference & Research on Influenza)で解析されたインフルエンザA(H3N2)ウイルスのうち、ほとんどのウイルスが、南半球で今年使用されている季節性のインフルエンザワクチンに含まれるインフルエンザA(H3N2)の系統と異なった系統でした。しかし、依然として、ワクチンには著明な予防効果があると考えられます。さらに、2系統のインフルエンザB型が流行していますが、大部分はビクトリア系統であり、ワクチン株と同じ系統です。山形系統のインフルエンザウイルスに対する交差免疫は成人では、ある程度あると考えられますが、小児では成人よりも少ないと考えられます。

2012年1月1日から8月21日までに、WHOのインフルエンザ研究協力センターで検査された762株のウイルスのうち1株がノイラミニダーゼ阻害薬であるオセルタミビルに耐性を示しました。このウイルスはインフルエンザA(H1N1)pdm09で、オセルタミビルへの耐性を与えることが知られているノイラミニダーゼ遺伝子のH275Y変異がありました。

ニュージーランドでは、ILI患者の受診率が過去2か月間で初めて減少しました。ILIの受診率は著明に減少しましたが、7週連続で流行閾値を超えています。1週間の受診率は、人口10万人あたり85.5であり、過去2週間減少が続いています。ILI患者の受診率は減少していますが、インフルエンザが陽性になる検体の割合は、わずかに増加しました。

国全体で、ILI患者の検体が538検体集められ、そのうち36%(196検体)でインフルエンザウイルスが陽性でした。そのうち、インフルエンザA(H3N2)が67%(131検体)、インフルエンザA型で亜型不明が17%(34検体)、インフルエンザB型が9%(17検体)、インフルエンザA(H1N1)pdm09が7%(14検体)でした。

ニュージーランドでは、SARIの患者数と人口10万人あたりのSARI患者の発生率はわずかに増加しました。今年7月29日から8月5日までの間にSHIVERS(南半球のインフルエンザとワクチンの効果の研究、サーベイランスの計画)によって検査されたSARI患者の72検体のうち、18検体(25%)がインフルエンザウイルス陽性で、そのうちインフルエンザA型で亜型不明が44%(8検体)、インフルエンザA(H3N2)が22%(4検体)、インフルエンザB型が22%(4検体)、インフルエンザA(H1N1)pdm09が11%(2検体)でした。4月30日以降に採取されたSARI患者の971検体のうち、21%(207検体)がインフルエンザ陽性でした。

ウガンダで発生したエボラ出血熱は終息しました

2012年9月3日 WHO(GAR)

2012年9月3日に公表されたWHOの情報によりますと、8月3日以降、ウガンダのキバレ(Kibaale)では、新たなエボラ出血熱の確定患者は報告されていません。これは、エボラ出血熱の発生が終息していることを示しています。エボラ出血熱が発生してから、確定患者と疑い患者は合計24人で、そのうち死亡者は17人と報告されています。患者のうち11人は、エンテベ(Entebbe)にあるウガンダウイルス研究所(UVRI)で確定診断されました。最後の確定患者は回復して、8月24日に退院しました。

確定患者と疑い患者の接触者はすべて、毎日、経過観察され、エボラ出血熱の症状の有無を観察する期間として推奨される21日間の経過観察を終えました。

エボラ出血熱の発生に対して対応した関係者は、強化したサーベイランスや社会心理的支援、医療機関における感染症の予防と拡大防止を含む非常に重要な機能を維持するために、担ってきた役割を国と地域の当局に移しています。

キバレ地区の病院とカンパラのムラゴ(Mulago)国立病院に設置されたエボラ出血熱の隔離病棟は、疑い患者を受け入れるために残されています。

キバレ地区の生態学の研究チームは、エボラ出血熱の自然史や、野生生物から最初に感染したとみられる人の感染を調査するため、コウモリ、霊長類、家畜から検体を採取しました。

< 近隣諸国の状況 >

この更新情報の時点では、コンゴ民主共和国のオリエンタル(Orientale)州でのエボラ出血熱の発生は続いています。ウガンダとコンゴ民主共和国のエボラ出血熱は、疫学的に関連はなく、2種の異なるウイルスによって起きています(ウガンダのエボラ出血熱はスーダンエボラウイルスによるものですが、コンゴ民主共和国のエボラ出血熱はブンディブギョエボラウイルスによるものです)。

この事例に関して、WHOはウガンダへの渡航や貿易を制限することを推奨していません。



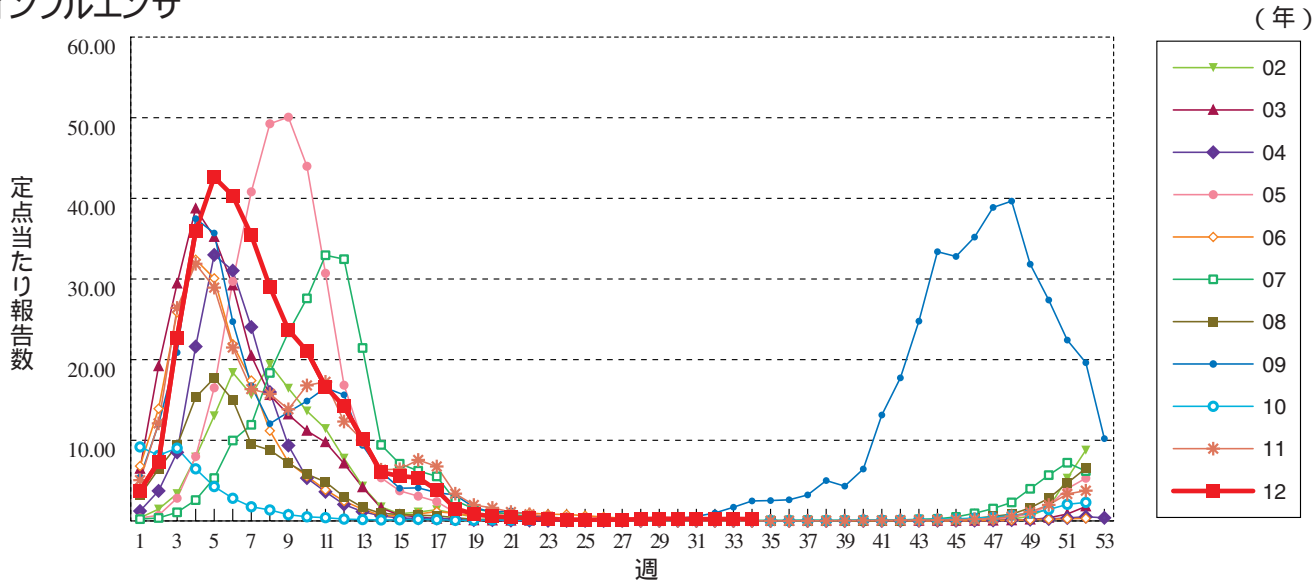
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

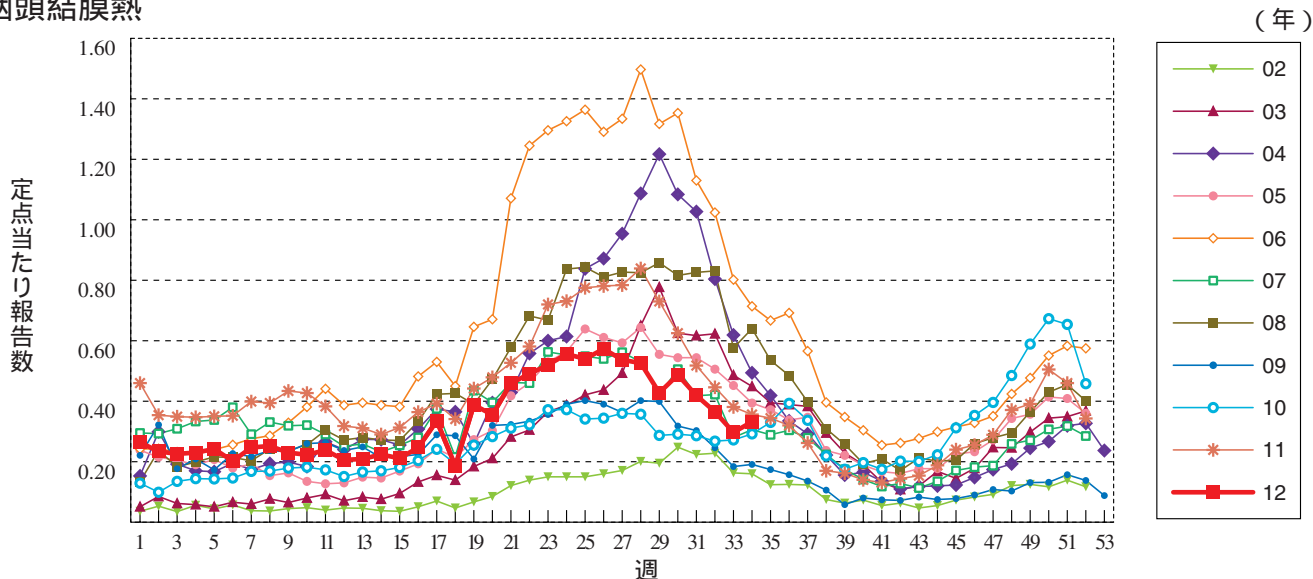


グラフ総覧(34週)

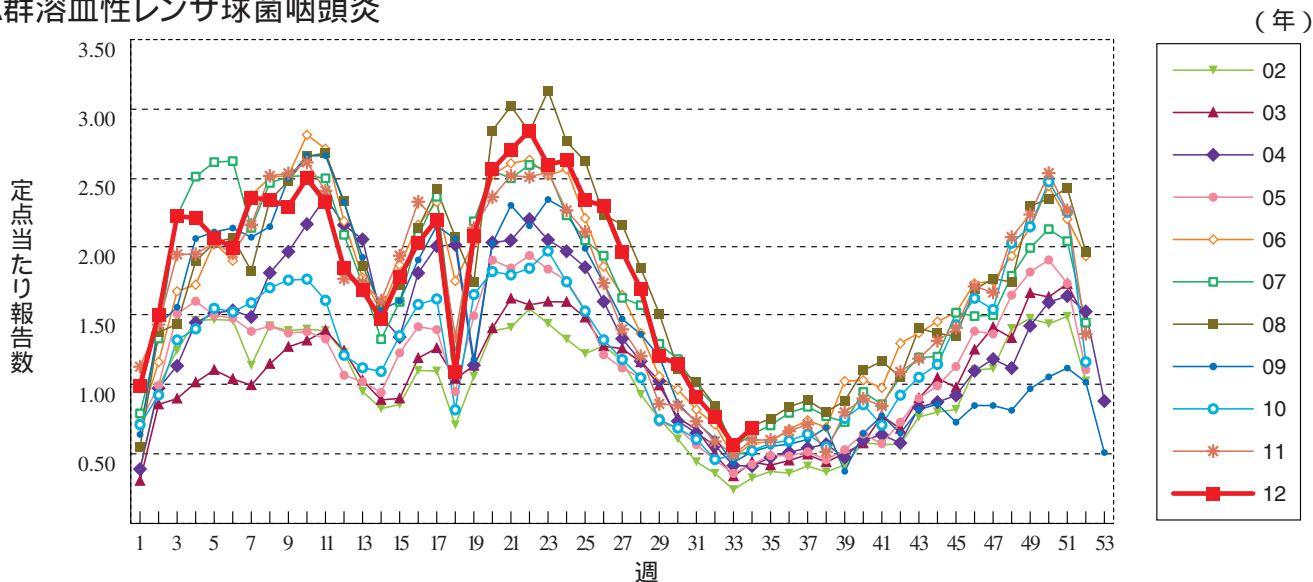
インフルエンザ



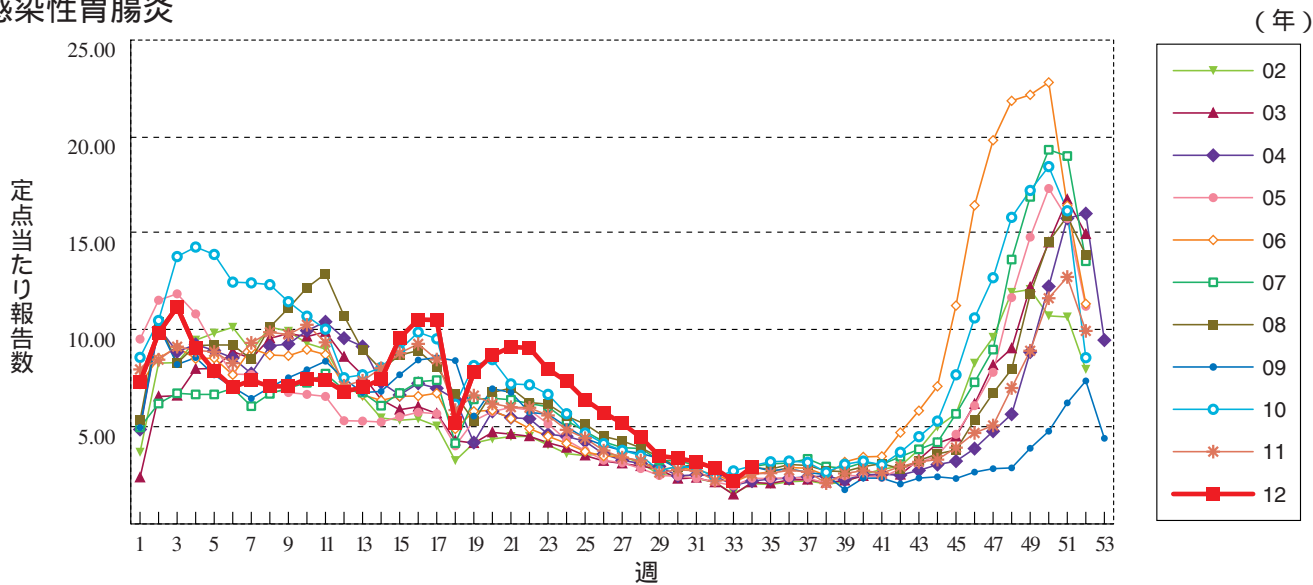
咽頭結膜熱



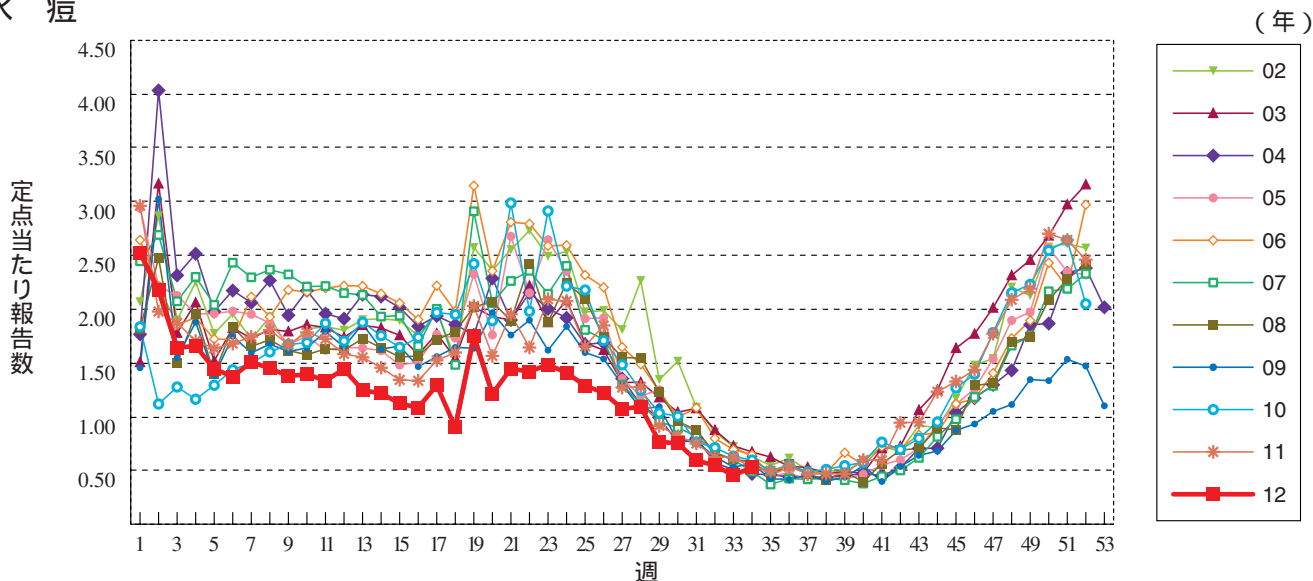
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



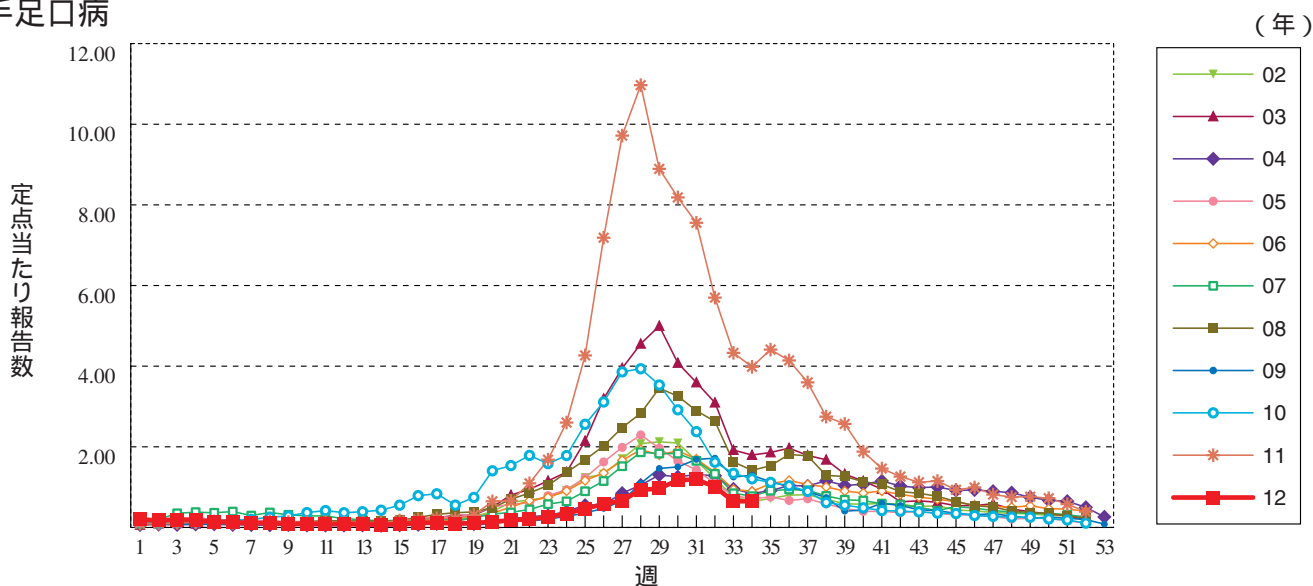
感染性胃腸炎



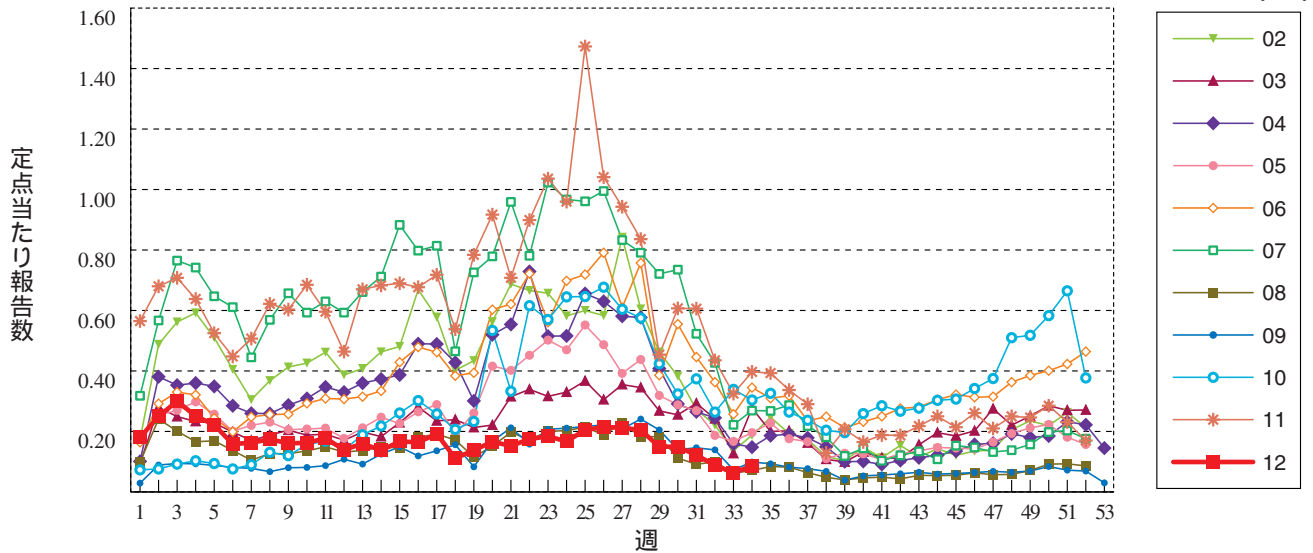
水痘



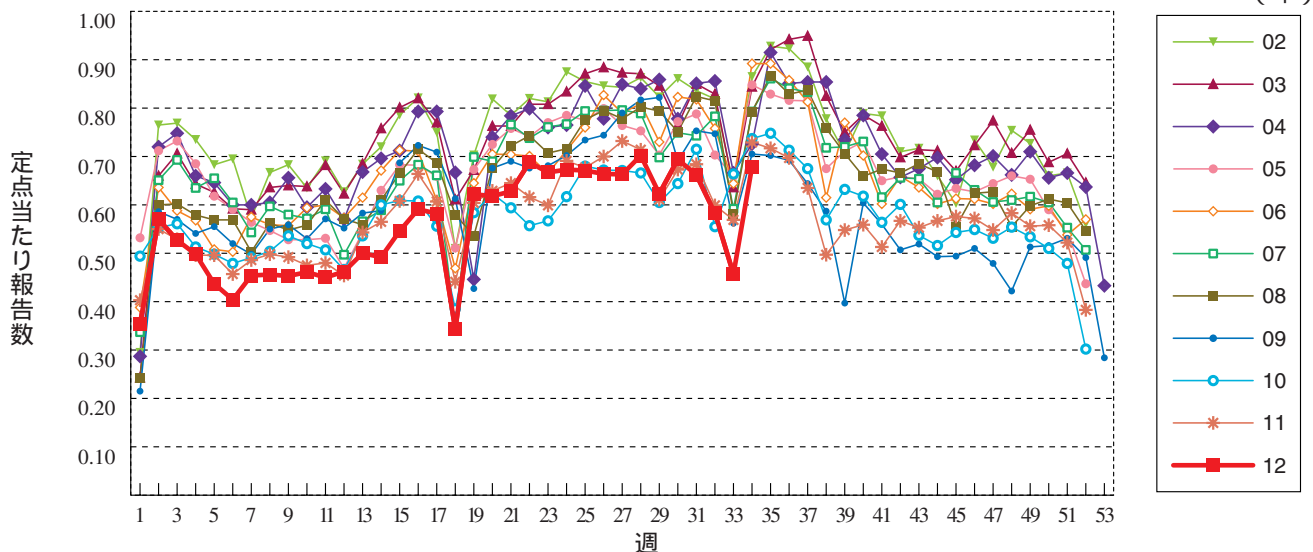
手足口病



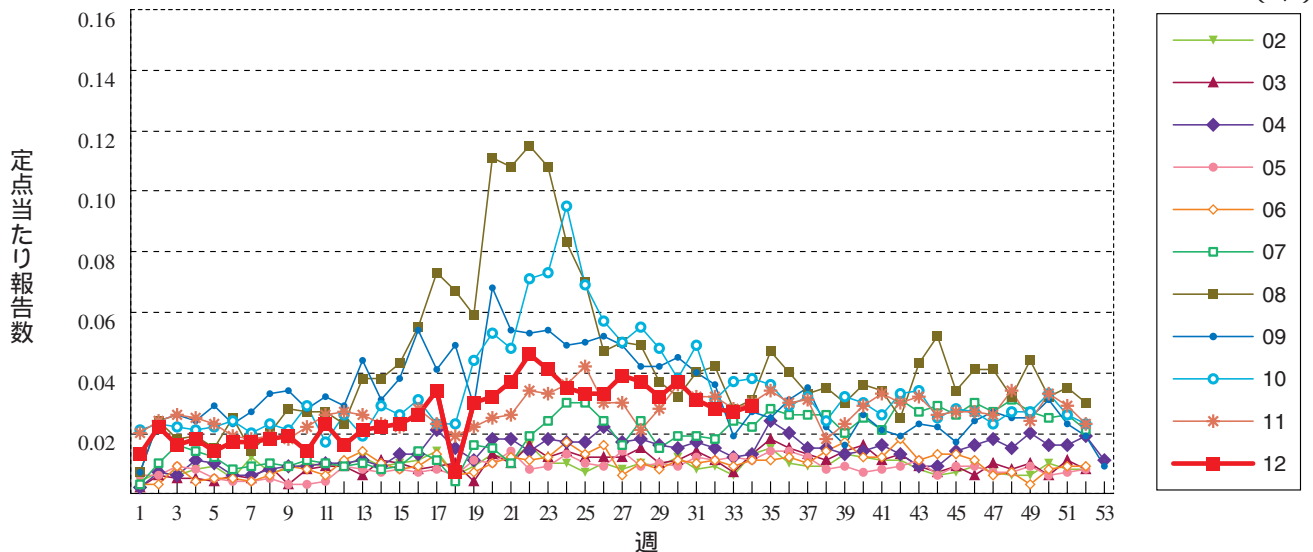
伝染性紅斑



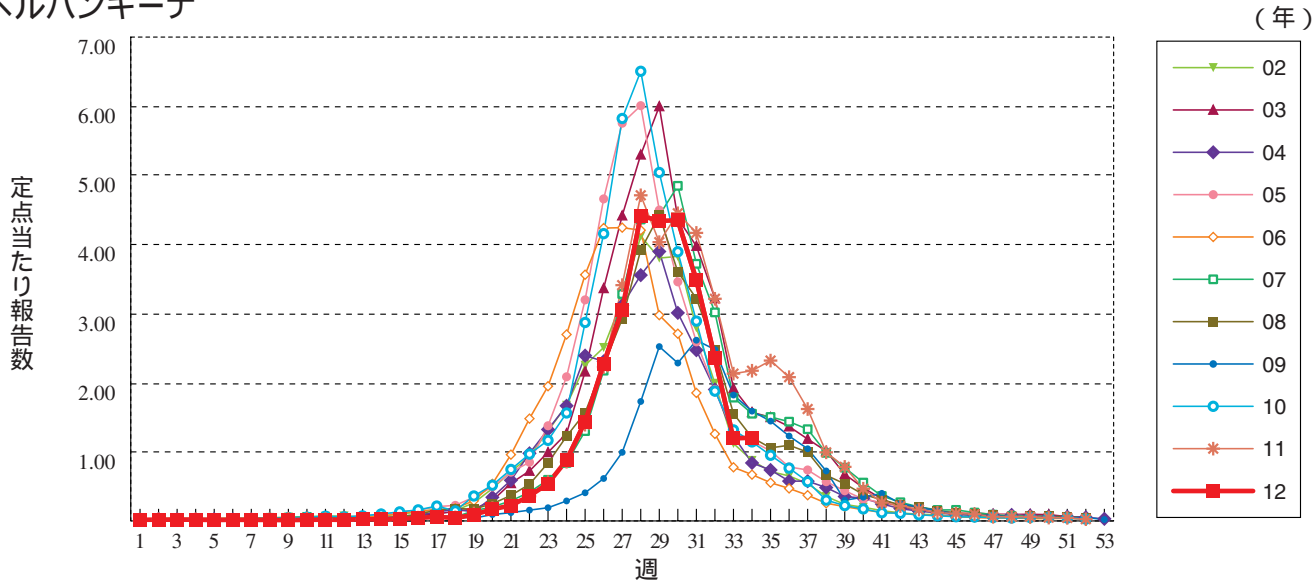
突発性発しん



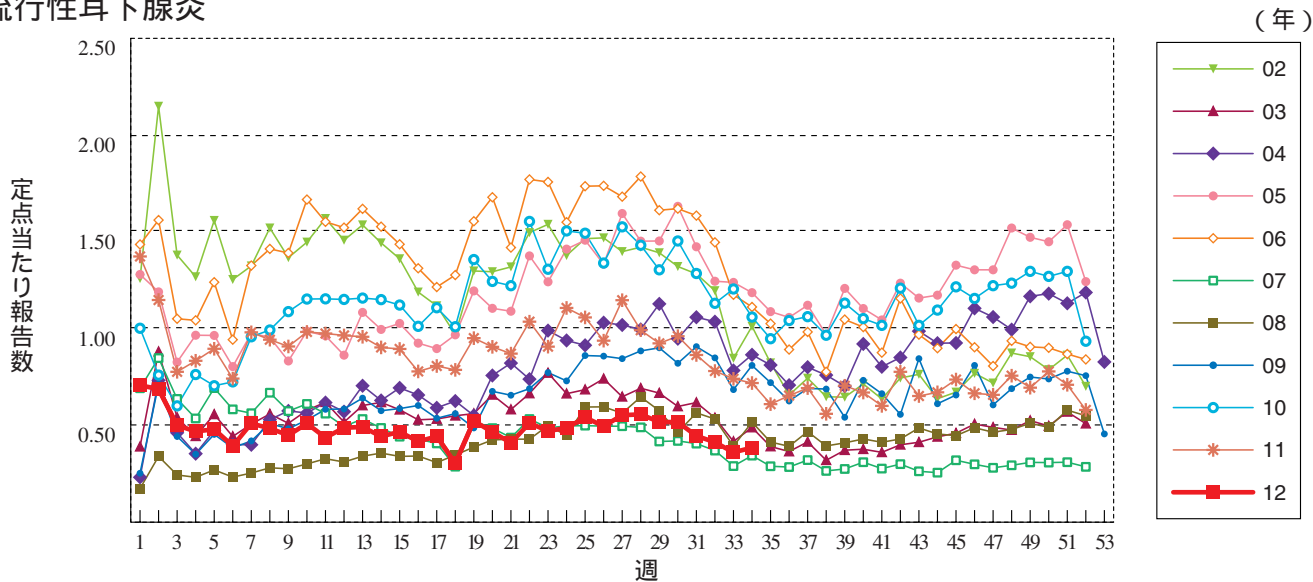
百日咳



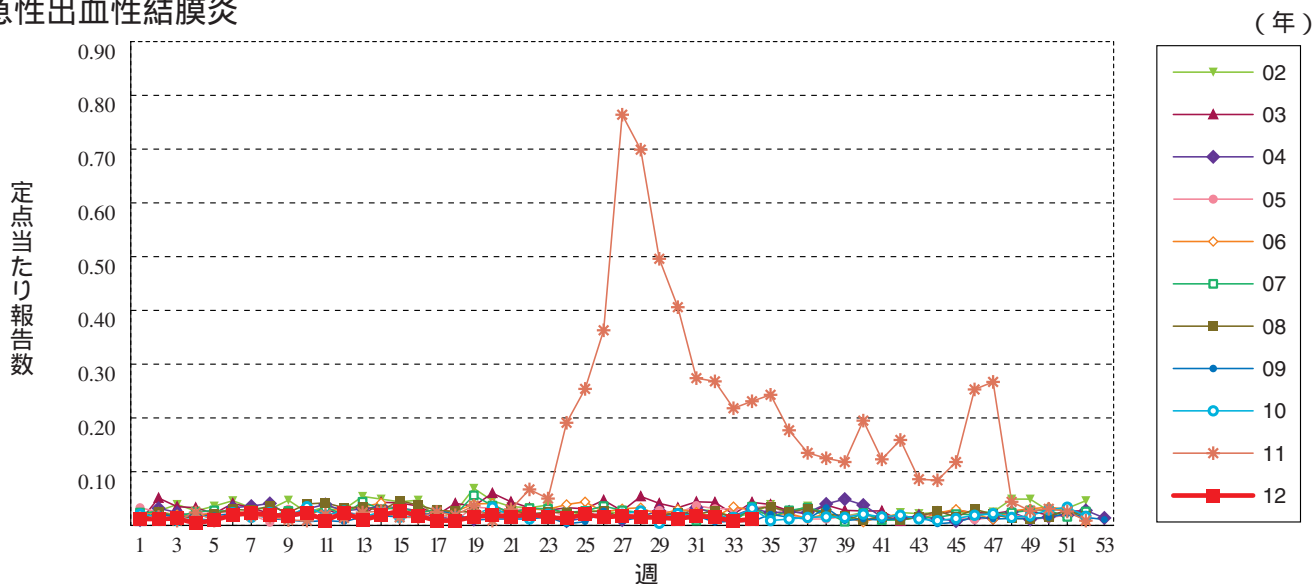
ヘルパンギーナ



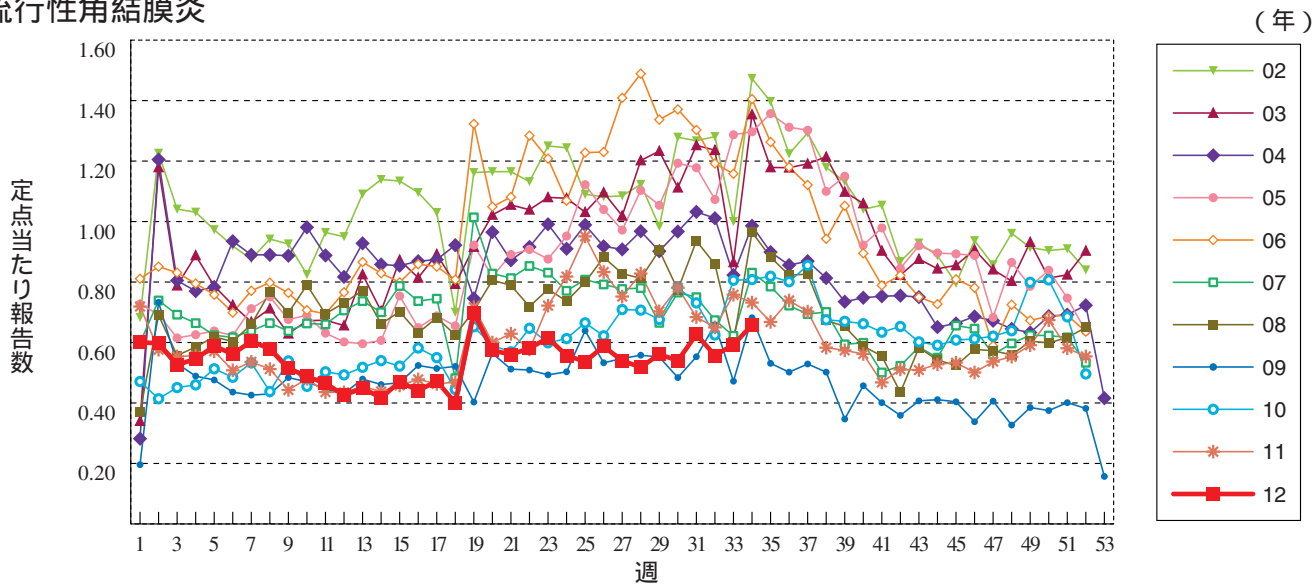
流行性耳下腺炎



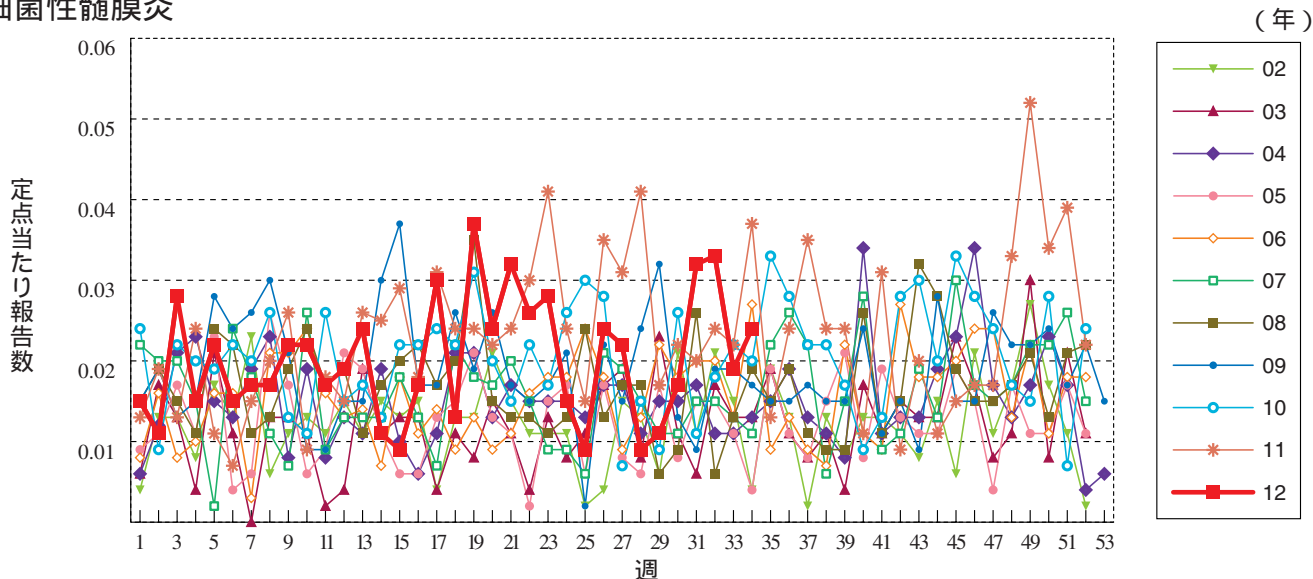
急性出血性結膜炎



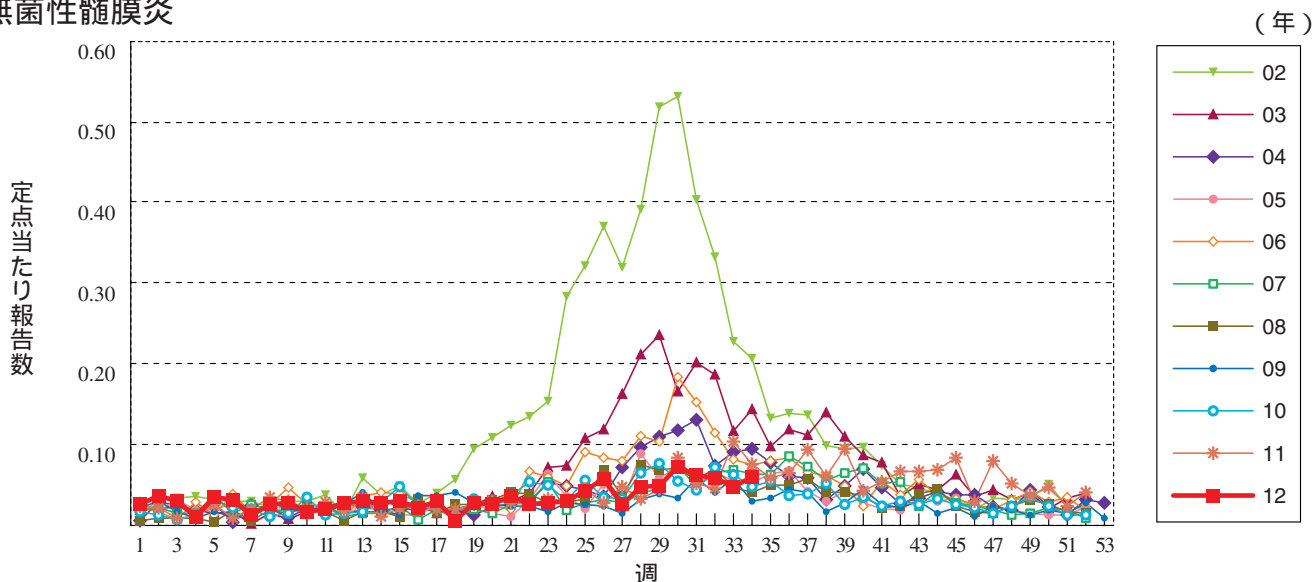
流行性角結膜炎



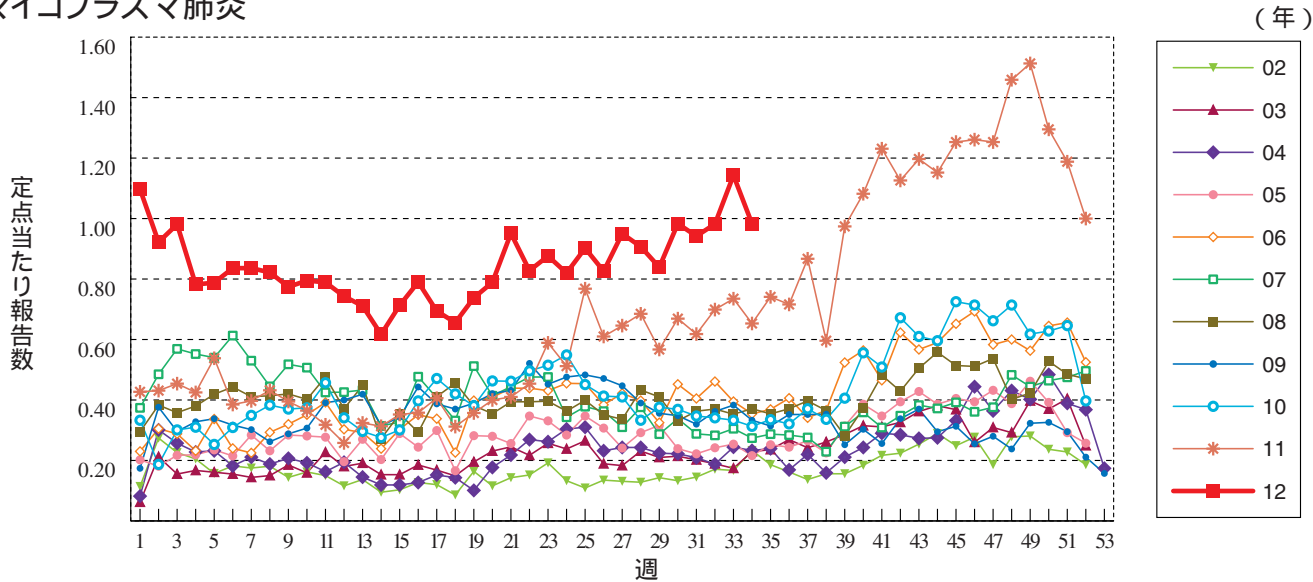
細菌性髄膜炎



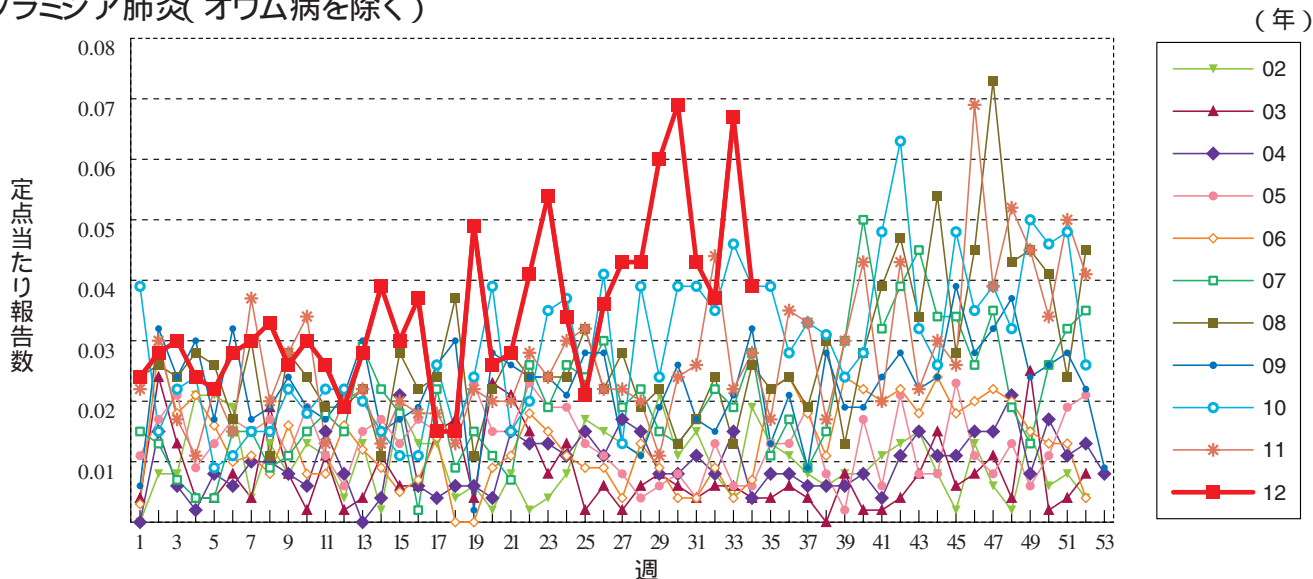
無菌性髄膜炎



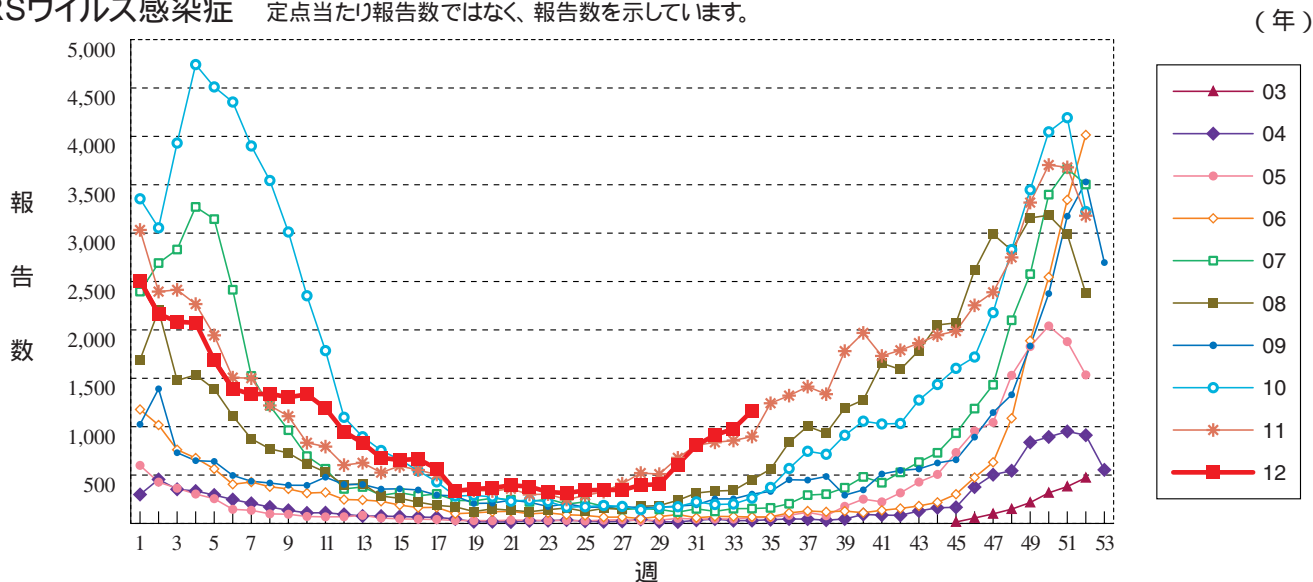
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





34週のデータ

注) 表中の報告数は8月29日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年34週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	352	18925
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	580
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	282
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	192
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	250
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	138
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	121
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	164
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	400
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	229
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	175
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	862
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	915
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	2980
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	1393
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	221
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	145
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	138
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	116
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	219
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	330
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	401
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	1244
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	234
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	184
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	489
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	1103
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	670
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	262
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	233
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	175
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	290
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	454
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	259
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	160
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	124
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	161
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	86
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	782
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	101
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	262
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	289
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	227
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	159
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	263
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	295

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年34週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3		4	135	161	2233	1	18	-	11	-	84
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	35	250	-	-	-	-	-	32
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	17	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	55	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	65	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	5	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	18	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	10	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	25	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	24	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	71	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	63	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	2	48	11	135	1	6	-	4	-	11
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	4	5	86	-	4	-	1	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	15	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	10	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	81	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	43	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	101	-	2	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	37	-	-	-	-	-	12
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	39	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	27	5	203	-	1	-	4	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	53	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	10	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	24	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	129	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	53	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	41	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	149	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	67	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	50	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	45	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年34週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	120	-	6	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	9	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年34週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	194
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年34週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	8	104	-	-	-	-	-	-	6	67	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	1	2	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2012年34週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	45	-	-	-	7	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	14	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年34週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	7	535	1	9	-	-	8	561	-	139	6	260	-	6
北海道	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	16	-	4	-	12	-	-
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-
福島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	7	-	1	-	19	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	4	-	1	1	8	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	27	-	1	-	-	1	29	-	5	-	12	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	31	-	3	1	42	-	-
東京都	-	-	-	-	1	38	-	3	-	-	3	112	-	29	-	19	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	36	1	1	-	-	-	52	-	2	2	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	7	-	1	-	11	-	-
富山県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	3	-	3	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	17	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	19	-	2	-	14	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	1	35	-	7	-	9	-	1
三重県	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	-	10	-	2	-	2	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-
京都府	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	14	-	6	-	8	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	47	-	17	-	17	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	2	18	-	9	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	9	-	4	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	12	-	8	1	13	-	-
山口県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	8	-	1	-	3	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	1	28	-	11	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	7	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	2	-	7	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	2	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年34週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	118	3	169	12	890	4	43	1	8	-	-	12	546	3	70	-	-
北海道	-	7	-	9	1	20	1	1	-	-	-	-	-	18	-	7	-	-
青森県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	3	-	9	-	1	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
福島県	-	1	-	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	3	-	3	1	21	-	2	-	-	-	-	4	20	-	3	-	-
栃木県	-	6	-	5	-	12	-	-	-	-	-	-	-	10	1	1	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	8	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
埼玉県	1	4	-	4	1	29	-	-	-	-	-	-	1	26	-	2	-	-
千葉県	-	4	-	11	2	29	-	-	-	-	-	-	1	17	1	4	-	-
東京都	-	9	2	15	3	291	1	9	-	-	-	-	3	171	-	2	-	-
神奈川県	-	5	-	6	1	46	-	2	-	2	-	-	-	27	-	5	-	-
新潟県	-	5	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
富山県	-	1	-	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
石川県	-	4	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
福井県	-	1	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	1	-	2	-	11	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
静岡県	-	3	-	2	-	15	-	-	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-
愛知県	-	7	-	8	-	78	-	1	1	1	-	-	-	23	-	3	-	-
三重県	-	1	-	4	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	3	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	7	-	8	1	7	-	1	-	1	-	-	-	8	-	2	-	-
大阪府	-	4	-	3	-	110	-	7	-	-	-	-	1	70	-	1	-	-
兵庫県	1	5	-	4	1	27	2	5	-	1	-	-	-	12	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	4	1	2	-	-
鳥取県	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
広島県	-	1	-	2	-	16	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-
山口県	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	2	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	2	-	6	-	7	-	2	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
高知県	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
福岡県	-	4	-	13	-	25	-	2	-	2	-	-	2	22	-	4	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	3	-	9	-	5	-	-	-	-	-	-	-	9	-	4	-	-
大分県	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
鹿児島県	-	2	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
沖縄県	-	3	-	1	-	14	-	1	-	1	-	-	-	8	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2012年34週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	59	73	1333	9	233
北海道	-	-	1	6	-	1
青森県	-	1	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	2
宮城県	-	-	1	3	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	1
山形県	-	-	-	4	-	-
福島県	-	1	-	4	-	7
茨城県	-	-	-	9	-	-
栃木県	-	-	-	3	-	10
群馬県	-	1	-	7	-	-
埼玉県	-	3	4	58	1	29
千葉県	-	4	7	58	-	16
東京都	-	6	12	305	1	59
神奈川県	-	4	8	121	3	20
新潟県	-	1	-	5	-	2
富山県	-	-	-	1	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	8	-	-
山梨県	-	1	-	7	-	3
長野県	-	-	2	10	-	-
岐阜県	-	2	-	2	-	6
静岡県	-	2	-	10	-	2
愛知県	-	2	6	45	-	35
三重県	-	1	6	14	-	-
滋賀県	-	-	-	12	-	1
京都府	-	2	-	29	-	1
大阪府	1	10	19	273	2	6
兵庫県	-	1	5	222	2	16
奈良県	-	-	-	13	-	-
和歌山県	-	-	-	7	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	5	-	6
広島県	-	2	-	9	-	5
山口県	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	3	-	2	-	1
高知県	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	4	1	21	-	1
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	5	-	3	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	4	-	1
沖縄県	-	1	-	39	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年34週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1090	0.22	1035	0.33	2160	0.69	9148	2.94	1653	0.53	2041	0.66	267	0.09	2117	0.68	91	0.03
北海道	3	0.01	61	0.43	175	1.22	224	1.57	81	0.57	104	0.73	9	0.06	74	0.52	4	0.03
青森県	-	-	8	0.20	19	0.46	45	1.10	10	0.24	178	4.34	-	-	15	0.37	2	0.05
岩手県	1	0.02	13	0.33	29	0.73	83	2.08	8	0.20	81	2.03	19	0.48	33	0.83	1	0.03
宮城県	1	0.01	11	0.19	48	0.83	259	4.47	23	0.40	191	3.29	7	0.12	53	0.91	-	-
秋田県	-	-	8	0.23	12	0.34	96	2.74	4	0.11	41	1.17	1	0.03	17	0.49	-	-
山形県	-	-	3	0.10	29	0.97	74	2.47	18	0.60	72	2.40	2	0.07	16	0.53	1	0.03
福島県	2	0.03	9	0.19	20	0.42	68	1.42	23	0.48	87	1.81	2	0.04	38	0.79	1	0.02
茨城県	2	0.02	10	0.13	36	0.48	147	1.96	32	0.43	37	0.49	1	0.01	26	0.35	3	0.04
栃木県	1	0.01	12	0.25	29	0.60	39	0.81	25	0.52	18	0.38	2	0.04	35	0.73	5	0.10
群馬県	-	-	31	0.53	33	0.57	222	3.83	23	0.40	27	0.47	1	0.02	35	0.60	1	0.02
埼玉県	6	0.03	61	0.40	98	0.64	441	2.90	76	0.50	78	0.51	7	0.05	116	0.76	1	0.01
千葉県	5	0.02	26	0.20	119	0.93	323	2.52	72	0.56	67	0.52	10	0.08	107	0.84	5	0.04
東京都	11	0.03	113	0.45	185	0.74	764	3.04	112	0.45	155	0.62	19	0.08	166	0.66	2	0.01
神奈川県	4	0.01	73	0.38	105	0.55	432	2.25	106	0.55	108	0.56	31	0.16	116	0.60	2	0.01
新潟県	2	0.02	16	0.27	43	0.72	45	0.75	53	0.88	242	4.03	8	0.13	41	0.68	2	0.03
富山県	-	-	13	0.45	31	1.07	101	3.48	11	0.38	9	0.31	1	0.03	8	0.28	-	-
石川県	1	0.02	9	0.31	22	0.76	89	3.07	18	0.62	27	0.93	1	0.03	11	0.38	-	-
福井県	-	-	14	0.64	26	1.18	95	4.32	13	0.59	47	2.14	-	-	13	0.59	1	0.05
山梨県	-	-	6	0.25	15	0.63	66	2.75	7	0.29	9	0.38	-	-	12	0.50	-	-
長野県	-	-	7	0.13	44	0.80	175	3.18	33	0.60	58	1.05	7	0.13	29	0.53	2	0.04
岐阜県	1	0.01	19	0.36	16	0.30	147	2.77	19	0.36	4	0.08	14	0.26	29	0.55	2	0.04
静岡県	-	-	25	0.28	52	0.58	333	3.74	62	0.70	20	0.22	4	0.04	55	0.62	1	0.01
愛知県	5	0.03	39	0.22	78	0.43	602	3.33	100	0.55	39	0.22	26	0.14	120	0.66	6	0.03
三重県	1	0.01	20	0.44	21	0.47	141	3.13	14	0.31	10	0.22	-	-	48	1.07	-	-
滋賀県	3	0.06	9	0.28	31	0.97	82	2.56	14	0.44	6	0.19	-	-	17	0.53	2	0.06
京都府	-	-	4	0.05	37	0.50	157	2.12	43	0.58	24	0.32	1	0.01	36	0.49	1	0.01
大阪府	3	0.01	72	0.37	161	0.82	664	3.37	118	0.60	47	0.24	5	0.03	130	0.66	3	0.02
兵庫県	1	0.01	27	0.21	56	0.43	416	3.22	76	0.59	18	0.14	6	0.05	91	0.71	11	0.09
奈良県	-	-	9	0.26	6	0.17	58	1.66	8	0.23	2	0.06	3	0.09	10	0.29	-	-
和歌山県	1	0.02	6	0.19	6	0.19	52	1.68	27	0.87	7	0.23	-	-	19	0.61	-	-
鳥取県	-	-	-	-	32	1.68	73	3.84	4	0.21	-	-	-	-	12	0.63	-	-
島根県	-	-	4	0.17	7	0.30	120	5.22	11	0.48	1	0.04	-	-	25	1.09	-	-
岡山県	2	0.02	10	0.19	25	0.46	222	4.11	22	0.41	17	0.31	5	0.09	29	0.54	1	0.02
広島県	1	0.01	43	0.60	32	0.44	221	3.07	51	0.71	12	0.17	9	0.13	34	0.47	2	0.03
山口県	-	-	5	0.10	115	2.40	170	3.54	29	0.60	2	0.04	12	0.25	49	1.02	6	0.13
徳島県	-	-	16	0.70	24	1.04	78	3.39	24	1.04	13	0.57	2	0.09	25	1.09	-	-
香川県	-	-	2	0.07	9	0.30	100	3.33	21	0.70	9	0.30	3	0.10	15	0.50	-	-
愛媛県	-	-	7	0.19	34	0.92	130	3.51	25	0.68	16	0.43	8	0.22	27	0.73	-	-
高知県	-	-	5	0.17	13	0.43	49	1.63	16	0.53	3	0.10	7	0.23	16	0.53	14	0.47
福岡県	7	0.04	57	0.48	84	0.70	534	4.45	72	0.60	11	0.09	4	0.03	104	0.87	5	0.04
佐賀県	3	0.08	4	0.17	15	0.65	26	1.13	18	0.78	3	0.13	-	-	40	1.74	-	-
長崎県	4	0.06	11	0.25	27	0.61	112	2.55	23	0.52	3	0.07	-	-	41	0.93	-	-
熊本県	-	-	37	0.77	25	0.52	158	3.29	27	0.56	6	0.13	4	0.08	51	1.06	-	-
大分県	7	0.12	5	0.14	32	0.89	235	6.53	24	0.67	8	0.22	4	0.11	33	0.92	3	0.08
宮崎県	1	0.02	27	0.75	52	1.44	201	5.58	22	0.61	88	2.44	1	0.03	50	1.39	-	-
鹿児島県	75	0.81	66	1.20	32	0.58	207	3.76	19	0.35	17	0.31	9	0.16	37	0.67	-	-
沖縄県	936	16.14	2	0.06	20	0.59	72	2.12	16	0.47	19	0.56	12	0.35	13	0.38	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年34週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	3754	1.20	1200	0.39	8	0.01	448	0.66	11	0.02	28	0.06	458	0.98	18	0.04	1164
北海道	212	1.48	22	0.15	-	-	10	0.34	-	-	-	-	11	0.48	-	-	29
青森県	76	1.85	15	0.37	1	0.09	6	0.55	-	-	-	-	16	2.67	-	-	14
岩手県	52	1.30	53	1.33	-	-	9	0.64	-	-	-	-	23	1.21	-	-	13
宮城県	83	1.43	46	0.79	-	-	-	-	1	0.08	-	-	24	2.00	-	-	25
秋田県	61	1.74	7	0.20	1	0.14	4	0.57	-	-	-	-	6	0.75	-	-	28
山形県	93	3.10	25	0.83	-	-	1	0.13	1	0.10	1	0.10	8	0.80	-	-	8
福島県	33	0.69	5	0.10	-	-	7	0.58	1	0.14	-	-	7	1.00	2	0.29	33
茨城県	38	0.51	18	0.24	-	-	25	1.47	-	-	-	-	15	1.15	-	-	6
栃木県	20	0.42	14	0.29	-	-	12	1.00	-	-	-	-	34	4.86	2	0.29	9
群馬県	60	1.03	39	0.67	-	-	19	1.36	-	-	-	-	35	4.38	-	-	2
埼玉県	183	1.20	65	0.43	-	-	15	0.37	1	0.11	-	-	23	2.56	1	0.11	25
千葉県	175	1.37	47	0.37	2	0.06	15	0.45	-	-	1	0.11	7	0.78	2	0.22	33
東京都	361	1.44	56	0.22	-	-	19	0.50	-	-	1	0.04	13	0.52	1	0.04	146
神奈川県	240	1.25	43	0.22	2	0.05	44	1.00	-	-	2	0.25	4	0.50	-	-	31
新潟県	261	4.35	31	0.52	-	-	10	1.00	-	-	-	-	9	0.69	6	0.46	-
富山県	54	1.86	3	0.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20	-	-	6
石川県	30	1.03	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80	1	0.20	5
福井県	32	1.45	2	0.09	-	-	1	0.33	1	0.17	-	-	3	0.50	-	-	8
山梨県	20	0.83	4	0.17	-	-	2	0.22	-	-	-	-	9	0.90	-	-	-
長野県	119	2.16	4	0.07	-	-	5	0.45	-	-	-	-	18	1.64	-	-	2
岐阜県	32	0.60	54	1.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	19	3.80	-	-	5
静岡県	62	0.70	38	0.43	-	-	12	0.55	-	-	2	0.22	6	0.67	1	0.11	29
愛知県	117	0.65	97	0.54	-	-	13	0.38	-	-	1	0.07	31	2.21	-	-	12
三重県	34	0.76	31	0.69	-	-	5	0.42	-	-	1	0.11	4	0.44	-	-	5
滋賀県	33	1.03	7	0.22	-	-	2	0.25	-	-	-	-	5	0.71	-	-	3
京都府	63	0.85	14	0.19	-	-	7	0.39	-	-	-	-	5	0.83	-	-	13
大阪府	206	1.05	45	0.23	-	-	13	0.26	-	-	3	0.18	21	1.24	1	0.06	63
兵庫県	173	1.34	35	0.27	1	0.03	11	0.31	1	0.09	3	0.27	6	0.55	-	-	3
奈良県	23	0.66	9	0.26	-	-	2	0.22	1	0.17	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	32	1.03	4	0.13	-	-	-	-	-	-	2	0.18	10	0.91	-	-	4
鳥取県	42	2.21	3	0.16	-	-	5	1.67	-	-	2	0.40	8	1.60	-	-	-
島根県	32	1.39	8	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.38	-	-	2
岡山県	61	1.13	12	0.22	-	-	9	0.75	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-	-
広島県	55	0.76	20	0.28	1	0.05	13	0.68	-	-	1	0.05	9	0.43	-	-	42
山口県	52	1.08	23	0.48	-	-	5	0.56	-	-	-	-	10	1.11	-	-	28
徳島県	54	2.35	5	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	3
香川県	34	1.13	4	0.13	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20	-	-	1
愛媛県	33	0.89	18	0.49	-	-	7	0.88	-	-	-	-	1	0.17	-	-	14
高知県	13	0.43	12	0.40	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.50	1	0.13	2
福岡県	81	0.68	77	0.64	-	-	13	0.50	-	-	2	0.13	3	0.20	-	-	254
佐賀県	22	0.96	12	0.52	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	4	0.67	-	-	5
長崎県	24	0.55	9	0.20	-	-	7	0.88	-	-	2	0.17	10	0.83	-	-	8
熊本県	47	0.98	20	0.42	-	-	52	5.78	2	0.13	1	0.07	7	0.47	-	-	7
大分県	51	1.42	65	1.81	-	-	2	0.40	-	-	-	-	1	0.09	-	-	20
宮崎県	105	2.92	36	1.00	-	-	13	2.17	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	68
鹿児島県	65	1.18	24	0.44	-	-	10	1.43	1	0.08	-	-	9	0.75	-	-	95
沖縄県	5	0.15	15	0.44	-	-	38	3.80	1	0.14	-	-	8	1.14	-	-	49

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年34週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年34週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第14巻 第34号 2012年9月7日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。